

あなたが何の目的で
この船に近づいてきたか
正直に白状すれば
こちらもそれなりに
取り計らってあげましょう



ですが応じて頂けないの
です。したら仕方がありません
。こちらとしてみても尋問さ
せて頂かざるを得ないでしょう

捕まった俺にそう持ちかけて
きたのがこの女だった
テレビで見たことがある
確かクーデリア…だったか

しかし何度輸送業者だと説明しても
聞き入れてはもらえなかつた
そもそも最初から俺の言うことの
真偽はどうでも良かったのだから
尋問の為に回実が欲しかつたのだ

そうですねか…
それでは仕方ありません
あなたの方に直接
相談させて頂きますわ♡♡♡



昨日今日は一日中作業靴を履いて
艦内のお手伝いをしていましたの
こは水も大事ですから昨日はた
シャワーも浴びれずに大変でした

ふふ…分かりますか♡
こんなに足も蒸れてしまっ

フ
フ
フ
フ



そう言うのとクーデリアはおもむろに靴下をぬぎ片方の足を俺の顔に近づけてきた。昨日から同じものをずっと履き続けていたのだろうか

足の裏部分がじつとり濡れた靴下を見てもわかるように相当に蒸れた彼女の足……それがゆっくりと近づいてきて俺の鼻先に押し当てられた

セーブ



どうですか？私の足の臭い♡♡♡
二日間ずっと靴の中に押し込まれて
私の汗をたっぷり吸った靴下にした♪
包まれて指の間も又ル又ルでした♪

グニョ♡
グニョ♡





クーデリアは足の親指と人差指の間で俺の鼻を挟み込んでグニグニと動かした。その度に指の間の汗が鼻の周りにまとわりつく。ムツとする熱気が鼻全体を包み、息をするとこの美少女の体から発しているとは思えないツンとした臭いが頭の中を駆けめぐった。

ゴロっ♡
ゴロっ♡

あらあら…そんな顔をしないで♡♡
せつかくこんな若い女性が恥ずかしい所の
体臭を嗅がせてあげているんですから♡♡♡

普段はこんな臭い嗅げませんよ♡♡♡
もうこんな事は無いかも
しれないのですから
たっぷり味わってくださいね♡♡





彼女は話しながら指の腹で俺の
鼻の頭をなでたり、鼻の中に指を少し
入れてきたりとまるでいたずらする
ように足を俺の顔に這わせた
テレビで見ただけは清纯で大人し
うだっただが
実際はS気があるのかな…と頭の端で思った



さて年頃の女の子がここまで恥ずかしい事を
してあげたのですから…今度はあなたが
私にお返しをしてくれる番ですよ♡♡

それでは…ふふふ…
足の裏を舐めて綺麗にして下さい♡♡♡
お忘れではないですよね？
これは尋問です♡さあ始めて…♡♡



そう言うと彼女は足の裏を俺の唇に
ギョツと押し付けてきた
臭いに対する抵抗は多少あったが、
諦めもあり俺は彼女の足の裏を舐め始めた

ん...そう...♡♡♡舌あつたかくて
持ちいい♡♡♡蒸れてふやけた
シワのここも舌先で丁寧に...
あッ...♡♡♡ねえ...
どうなんですか？

女の子の足で一番臭い所の臭いを
嗅ぎながら、足の裏を舐めるのって
ん♡...興奮しますか？♡♡♡

ゴッ♡
ゴッ♡

アッ...
アッ...

うふふ…言わなくてもわかりますよ
あなた実は相当変態のようですね♡♡♡
だっちはオ○ンチンがこんなにガチガチに
なっちゃってるんですから♡♡♡

ゴロリ♡
ゴロリ♡

アハハ…
アハハ…



うふふ…言わなくてもわかりますよ
あなた実は相当変態のようですね♡♡♡
だっちはオ○ンチンがこんなにガチガチに
なっちゃってるんですから♡♡♡

ゴロリ♡
ゴロリ♡

アハハ…
アハハ…





ゴッゴッ♡
ゴッゴッ♡

…俺の股間はいつの間にか
これ以上ないくらいに
勃起してしまっていた…
俺ってこういう気があったのか？
それとも今目覚めたのか？
とにかくソレを見た彼女は
新しいオモチャを手に入れたように
と嬉しそうに顔をしていた

しゃしゃ…
しゃしゃ…

そろそろ足も綺麗になったかしら♡♡♡
それじゃあ次はそのオ○ンチンを
私がいじめてさしあげてますわ♡♡♡

ゴロゴロ♡
ゴロゴロ♡

アハハ...
アハハ...



凄く臭い♡♡♡これさっきの私の
足の臭い♡♡♡でこんなに興奮し
ちやっただって事ですよね

それとも足の裏ですか？♡♡♡
年頃の女の子のくさくさな臭い♡♡♡
足の裏を隅々まで舐めて、オ○ンチン
こんなになんかせちやっただって事ですよね♡♡♡

ズンズン

ズンズン



彼女は勃起した俺の股間と俺の顔を交互に目で往復しながらいいわかるそうなの口調で話しかけてくるこれからどうやって俺をいじろうか考えているかのようだ



うふふ…オ○ンチンビクビクしてる♡♡♡
先っぽから沢山汗かいちゃって
かわいい♡♡♡
じゃあい…♡♡♡
じやあ…♡♡♡
こうしましよるか♡♡♡♡♡

♡
♡
♡
♡
♡

♡
♡
♡
♡



ツ……!!!
彼女は先程脱いだ靴下を
俺の股間に被せて来た
脱いだばかりの靴下の
熱気と湿めり気がダイレクトに
股間に伝わってくる……

じゅわん……♡♡



靴下にオ○ンチンがすっぽり♡♡♡♡♡
大好きな足の臭いに包まれて
嬉しいですか？♡♡♡
あっ…さっつきよりもガチガチに
なっ…てきてますよ♡♡♡♡♡

また興奮してきたのでしよう♡♡♡♡♡
本当に変態なのですね…♡♡♡♡♡
足汗でもうすっかかり又ルですし
靴下マ○コ犯させてあげますわ♡♡♡♡♡

じゅっ…♡♡

そう言う彼女は
靴下で包まれた肉棒に
手をかけゆっくりと
しごき始めた

じゅわっ...♡♡



どう？靴下マ○コ気持ちいい？
今亀頭が又ル又ル擦れてる所が
丁度足先の所ですよ♡♡♡
親指と人差し指でつまんで
指の間の汗が染み込んでいた所…♡

私の足汗とあなたのカウパーが
混ざり合っ…とつても卑猥な
臭いになっていきますよ♡♡♡
ほら♪亀頭ゴシ♪ゴシ♪♡♡♡
ここを感じるのでしょう？♡♡♡

ガキーン

クゥ
クゥ



カリの部分为重点的に
彼女は俺の股間を刺激してくる
亀頭をつまみ愛撫したり
綺麗な爪で尿道口をカリカリと搔いたり
親指と人差し指で輪を作り
亀頭だけを細かくしごいたりしてきた

その度にカウパーが溢れだし
それを潤滑剤に亀頭の上を
滑る靴下生地との感触が……
もう……やばい……

ガキーン

クゥ
クゥ



アハッ♪ 凄くいい顔してる♡♡♡
靴下のザラザラが
亀頭を擦るの気持ちいいでしょ♡♡♡
そろそろ射精したくない？♡♡♡
靴下マ○コ孕ませたくなかった？♡♡♡

いいですよ♡♡♡ 来て下さい♡♡♡
中にタップリ出して
くっさい靴下マ○コにして♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡



そう言って彼女は
今度は竿全体をしごくように
手の動きを変化させた

細い指が竿に沿って上下し
上に行く時は亀頭をギュツと握るように
下に行く時は靴下をめいっぱい下げて
靴下の先端を亀頭に擦り付ける様に動いた

♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡



おんっ♡♡♡んっ♡♡♡
オ○ンチン凄く熱く
なってるの感じがします♡♡♡
私の中気持ちいい？♡♡♡

ヌルヌルとザラザラ感じて♡♡♡
あつその表情が良い…うふふ♡♡♡
もっとなつと良い顔になって♡♡♡

しゅっ♡♡♡

ワキゅゅ♡
グズゅゅ♡



ほら…クチュクチュ♡♡♡♡♡
あ、凄い又ル又ル…♡♡♡♡♡
早く♡♡♡♡♡早く出して♡♡♡♡♡
マ○コ孕ませて♡♡♡♡♡

さあ…早くイって♡♡♡♡♡
早くイキなさい♡♡♡♡♡
えいっ♪イケツ♡♡♡♡♡
イケツ♡♡♡♡♡イケツ♡♡♡♡♡
これどうですか？♡♡♡♡♡

クチュ♡♡♡♡♡
グググ♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡



俺をイカせようと彼女は
亀頭を手の平全体で
強くつかみめちやくちやに動かし始めた

汗とカウパーを含んで又ル又ルになった
靴下はまるでオナホの様に亀頭を刺激した
彼女の柔らかい手や指が力りや尿道口に絡みつき
激しく愛撫してくる…俺の限界は近かった…

クニクニ♡
グニクニ♡

♡♡♡



あっ♪その顔もうイキそうですね♡♡♡♡♡
早く出して♡♡♡♡♡
靴下の中にあなたにくっさい
ザーメン出してドロドロにするの
想像して♡♡♡♡♡

色んなジュースが混ざり合って
卑猥な臭いを出しながら
あなたのオ○ンチンに絡みつくの想像して♡♡♡♡♡

クキキ♡
グキキ♡

♡♡♡♡♡



私のこの綺麗な指も
くっさいジュースで蹂躪して♡♡♡
私のご飯を食べたり顔を洗ったりする
この指もくさくさい臭いで犯すの想像して♡♡♡

あっ！イキそう？♡♡♡
先っぽ膨らんできた♡♡♡

しゅっ♡♡♡
クキキ♡
グキキ♡



うぐう…ッ！
股間への絶え間ない刺激と
彼女の言葉による興奮で
こらえきれず俺は射精してしまった



あっ♪出ました♡♡♡
先っぽから白いザーメン♡♡♡
溢れてきてる…♡♡♡
靴下中出しされて♡♡♡
喜んでますよ♡♡♡

はあ…♡♡♡
この変態♡♡♡
いっぱい♡♡♡
塗りこんであげますね♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡

ゴロっ…



クーデリアは今出したばかりの
精液をクチクチと
亀頭をマツサージするように
混ぜあわせ、更に亀頭に塗りつける
時折その臭いを嗅いで
うっとりした表情を浮かべていた

クチャクチャ♡♡♡

アッ♡♡♡



はあ…♡♡♡くっさい♡♡♡
いやらしい臭い…♡♡♡
私も興奮してきちやう♡♡♡

じゃあ次は私の足で
直接いじってあげますね♡♡♡

クっさい♡♡♡

クっさい♡♡♡



射精で興奮してきたのか
クーデリアはタンクトップを
たくしあげ胸を露わにした
そして両足を器用に使った
俺の股間をいじり始めた

ニチャニチャと卑猥な音が
彼女の足の間から聞こえて来る…
俺はまた興奮してきて
射精直後にも関わらず勃起しまった

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡





うふふ♪亀頭プニプニでかわいい♡
また固くなってるみたいだね♡♡♡
ふふ！こんな臭い足でいじられて♡
オ○ンチン固くないんですか？♡♡
恥ずかしくもない？♡♡

♡チンポ♡
♡チンポ♡



カリの所と先っぽが
特に感じるんですよね♡♡♡
そこいじると凄くビクビクしてる♡♡♡
蒸れ蒸れになっただ
くさっけい汗もたっぷり
塗りつけてあげますからね♡♡♡

♡チクッ♡
♡チクッ♡

クーデリアは右足の親指と人差し指を開きその間に俺の亀頭を挟みカリから先端までを何度も往復しこすりあげる

亀頭への刺激もさることながら見た目にもかなり卑猥でこれは正直…やばい…ツ…

ガチャッ

ガチャ

ガチャ

ガチャ

ガチャ



彼女は面白そうに
亀頭をつまむ指にギュツと
力を込めしごくスピードを上げた
又ル又ルの指の間が
素早く亀頭全体を刺激して
快樂の波が引く前に
次の快樂が押し寄せてくる

もう…我慢ができない…

ガチャッ

ガチャ

ガチャ

ガチャ

ガチャ



グビッ...

キャッー？
えっ...もうイツちやっ
たんですか？？？
足コキでこんなすぐに
イクなんて...本当に
ド変態ですね♡♡♡





靴下だけじゃ飽きたらず
私の足もこんなにな
ザーメン臭くするなん
とんだ変態オ○ンチン
です♥♥♥♥♥

ムビロ

ムビロ♡

ガキョウ

ガキョウ

彼女はそう言いながら
自分の足に落ちた精液を
指ですくいき取り亀頭に塗りつけ
足の指で挟んでしごいたり
足の裏全体で亀頭を撫でるように
動かした

射精直後の敏感な股間が
その度にビクビクと
反応してしまう

ムビク

ムビク♡

ガキョウ

ガキョウ





私明日大事な会合がありますの…
このまま洗濯せずに
ブーッで蒸れ蒸れにして
出席してみようかしら♡♡♡
そしてまたあなたに♡♡♡
嗅がせてあげる♡♡♡
どう？興奮しません？♡♡♡

M
♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡

クーデリアの背徳的な言葉に興奮してしまいまた股間が固くなり始めた

それを察知した彼女は両足ですっぽりと股間全体を包み、艶めかしくしごく

M
ムビロ

ムビロ♡

ガキョウ

ガキョウ





うふふ…嘘ですよ♪可愛い♪
でも今日は私の足が
何度洗っても落ちないくらい
臭くなるまで
お○ンチン臭くなら
相手して頂きますわよ♡♡♡

M
4 ビロウ

ムーッ♡

ガキョウッ

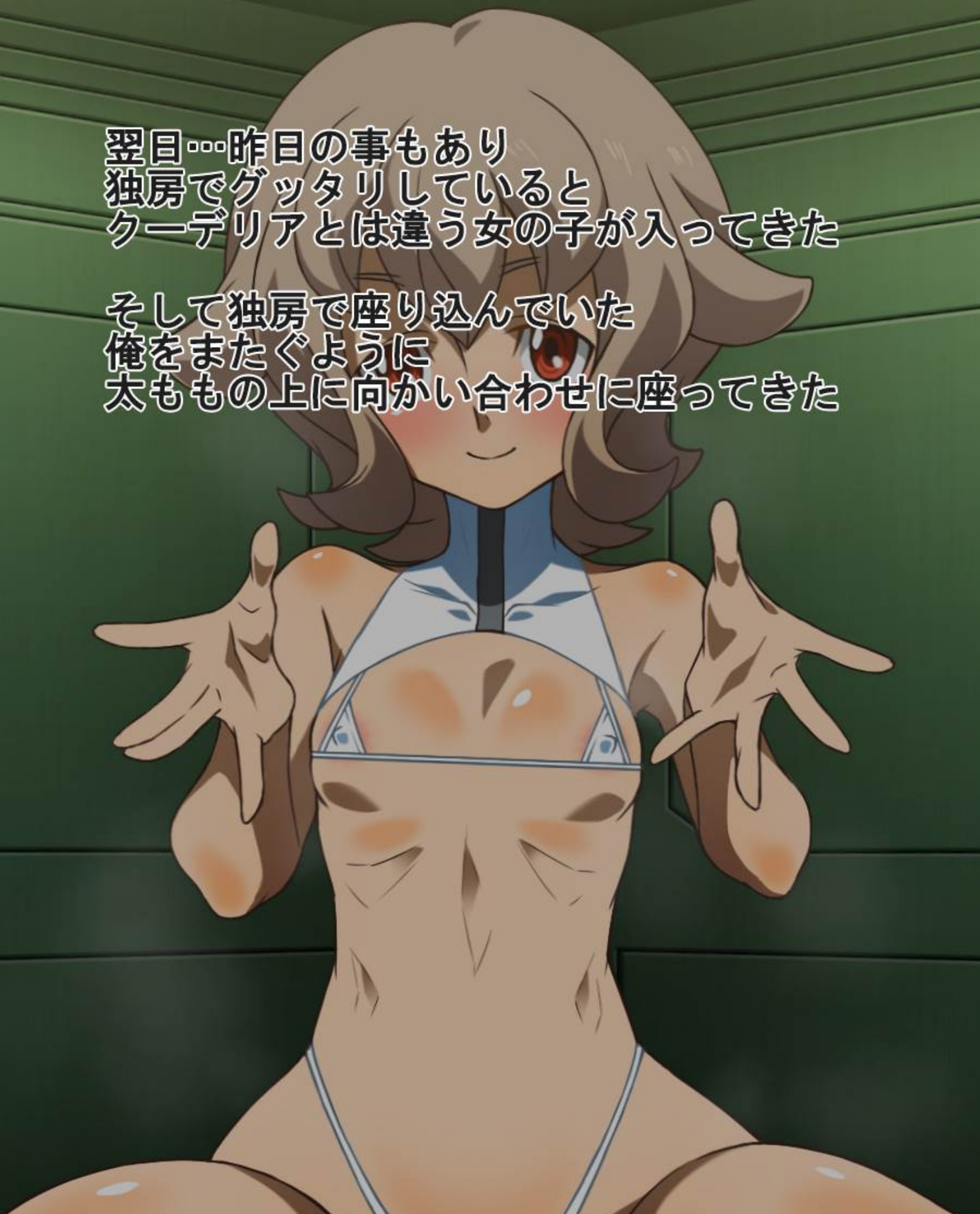
ガキョウッ

その後も長時間に渡って
俺は弄ばれ、開放されたのは
それから二時間程後だった……



翌日…昨日の事もあり
独房でグッタリしていると
クーデリアとは違う女の子が入ってきた

そして独房で座り込んでいた
俺をまたぐように
太ももの上に向かい合わせに座ってきた



聞くとこの子はアトラと言うらしい
クーデリアに今日の尋問役として
お願いされたとの事だった

それにしてもこんな
女の子がねえ……



クーデリアさんから
臭いで責めてあげると
良いよって言われて
来たんだけど……

えへへ……
こっぴどいのは
どうかなあ……？



！？
いたずらっぽい笑みを浮かべて
彼女は突然履いていた
パンツを脱ぎだした

そしてそれを指で開き
こちらに見せつけてくる…



これは今日私が一日中
履いていたパンツ♡♡♡
今からこれを被ってもらいます♪



え？何だっつて？？被る？？？
当惑する俺をよそに
彼女は上体をこちらに近づけ
腕を伸ばしてくる

そして彼女の股間に当たる部分が
丁度鼻の位置にくるように
彼女は俺にパンツを被せてきた



あははは……♪どう？
私の匂いで一杯になった？
ちよつと臭かったらごめんね♪

しゅわ
ぽん
ぽん
ぽん



彼女は無邪気そうに笑みを見せたが
顔に密着する布から発せられる
ほのかな小便臭さと蒸れた汗の匂い、
女の子の甘ったるい体臭が入り混じって
頭がクラクラしてくる

もちろんそんな状況では無理もなく
俺の股間はガチガチに勃起してしまった



昨日はクーデリアさんの足を
綺麗にしたって聞いたんだけど…

私は今日いっぱい汗かいたから
体を綺麗にしてもらおうかなら♡♡♡

パカッ

パカッ



そういうと彼女は
両腕を上げた
今まで密着していた腋からは
ムツと女の子の香りと
汗の匂いが溢れ出してきた

でも体を綺麗には……？

パカッ

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓





じゃあまず腋から舐めて
綺麗に汗を拭きとって♡♡♡

ちよっと汗臭いと思うけど
クーデリアさんの足と比べたら
全然匂いも少ないと思うよ♡♡


でも今パンツ被らされてるし
どうやって…？
少し躊躇していると彼女は続けた





うふ…パンツ越しに舐めて♡♡♡
私の匂いと味をたっぷり感じながら♡♡♡
私の体キレイにして♡♡♡

私の腋にあなただの
唾液の匂いをつけて♡♡♡




ああこの娘はこういう感じか…
昨日の一件で大分こういう
事態に慣れてしまいい自分でも
意外なくらい普通にそう思った

確かに昨日よりは全然臭くないし
むしろエロい匂いだ…
何よりもこの娘の格好と匂いのせいで
俺もかなり興奮してしまっている
俺は遠慮なくパンツ越しに舌を伸ばした



んっ…♡♡♡うん…♡♡♡
そうッ！…♡♡♡シワのことか舐めて♡♡♡
腋のお肉吸って引っ張ったりしてみ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡



汗？おしっこ？
腋を舐めると少ししょっぱい味と
彼女の匂いが口いっぱいに広がる
舌を動かしたり吸い付いてみると
彼女はピクピクと小さく反応する
腋が感じるようだ

腋美味しい？臭くないかな…
もつと…こっち側の腋も…んいッ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
気持ちいい…舌が押し付けられるの♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
ちよつとくすぐり♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

ニルッ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
ニルッ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
ニルッ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
ニルッ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡



腋が相当感じるのだろう彼女はあつという間に
呆けた様な表情になり呼吸も荒くなってきた
俺は交互に腋を舐め胸の横辺りまでを刺激した





んう〜…ふう…♡♡それ気持ちいい…♡♡
乳首じんじんして固くなつてきちやっ…♡♡
腋舐め終わつたら…乳首…舐めたい？♡♡
舐めたいなら…良いよ？♡♡♡♡

彼女が何度も乳首舐めたい？を聞いてくる
だが実際に聞いていたのではなく
すっかり欲情してしまっているのは明白だった
舐めてほしがっているのは明白だった
ちよつと意地悪を試してみたくなつた俺は
聞こえないふりをして腋を舐め続けた





乳首いらないの？♡♡♡
コリコリにないの？♡♡♡
軽く噛んだり舌で転がしていても楽しいの♡♡♡
腋よりもずっと甘いのに♡♡♡
乳首あげなくても良いんだ♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡

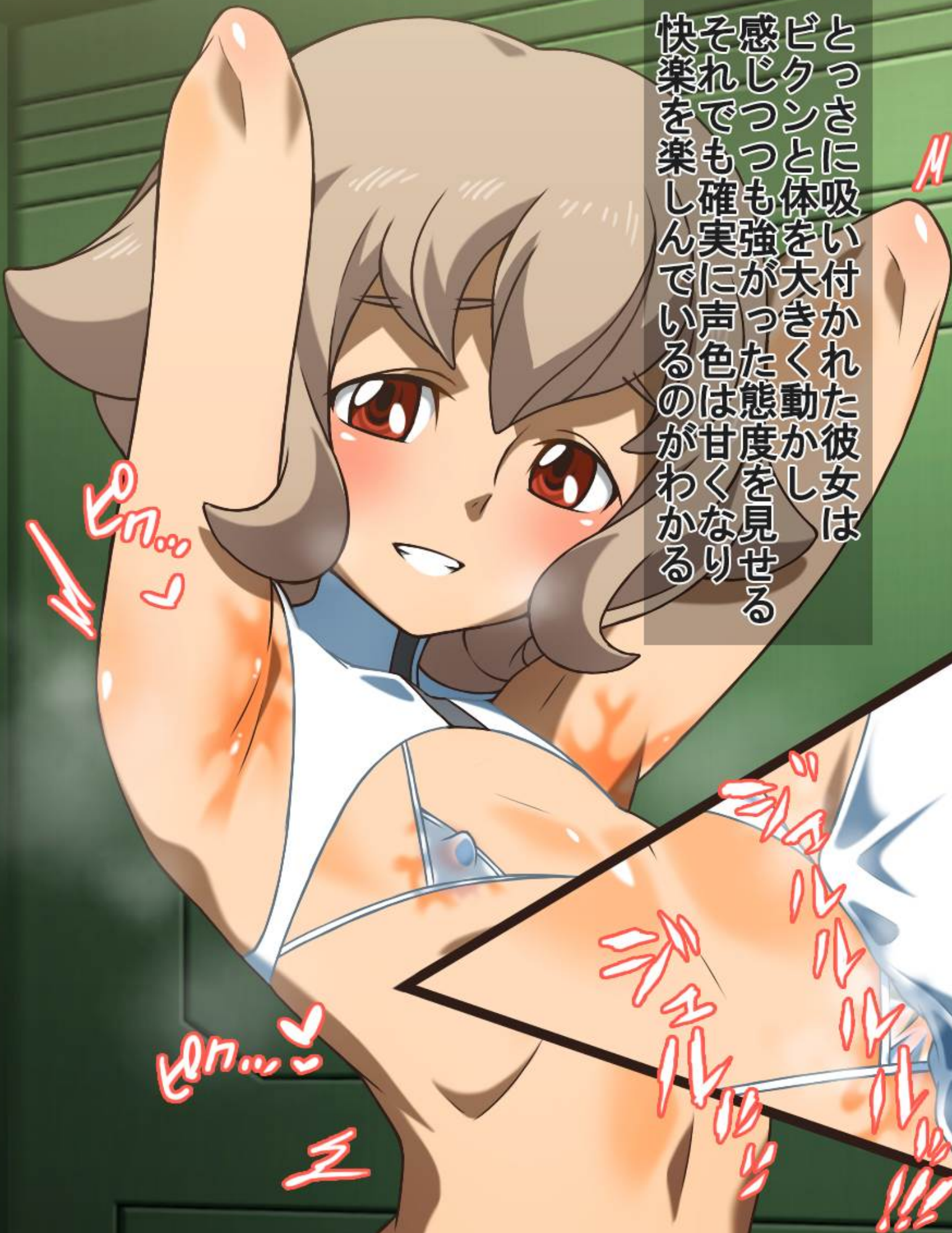
彼女はまっすぐ俺の目を見続け
乳首の主張を続けてくる
そろそろ良いかなと思っただ
俺はかさずぷっくりと尖った
乳首に吸い付いた



す無理からッ… あイツ…
無に我慢… あイツ…
舐めたかっ… たんじやない…
やっぱい… ツ…
い… ツ…
っ… ツ…
い… ツ…
ッ… ツ…
ッ… ツ…
ッ… ツ…
ッ… ツ…
ッ… ツ…
ッ… ツ…
ッ… ツ…
ッ… ツ…
ッ… ツ…
ッ… ツ…
ッ… ツ…
ッ… ツ…
ッ… ツ…



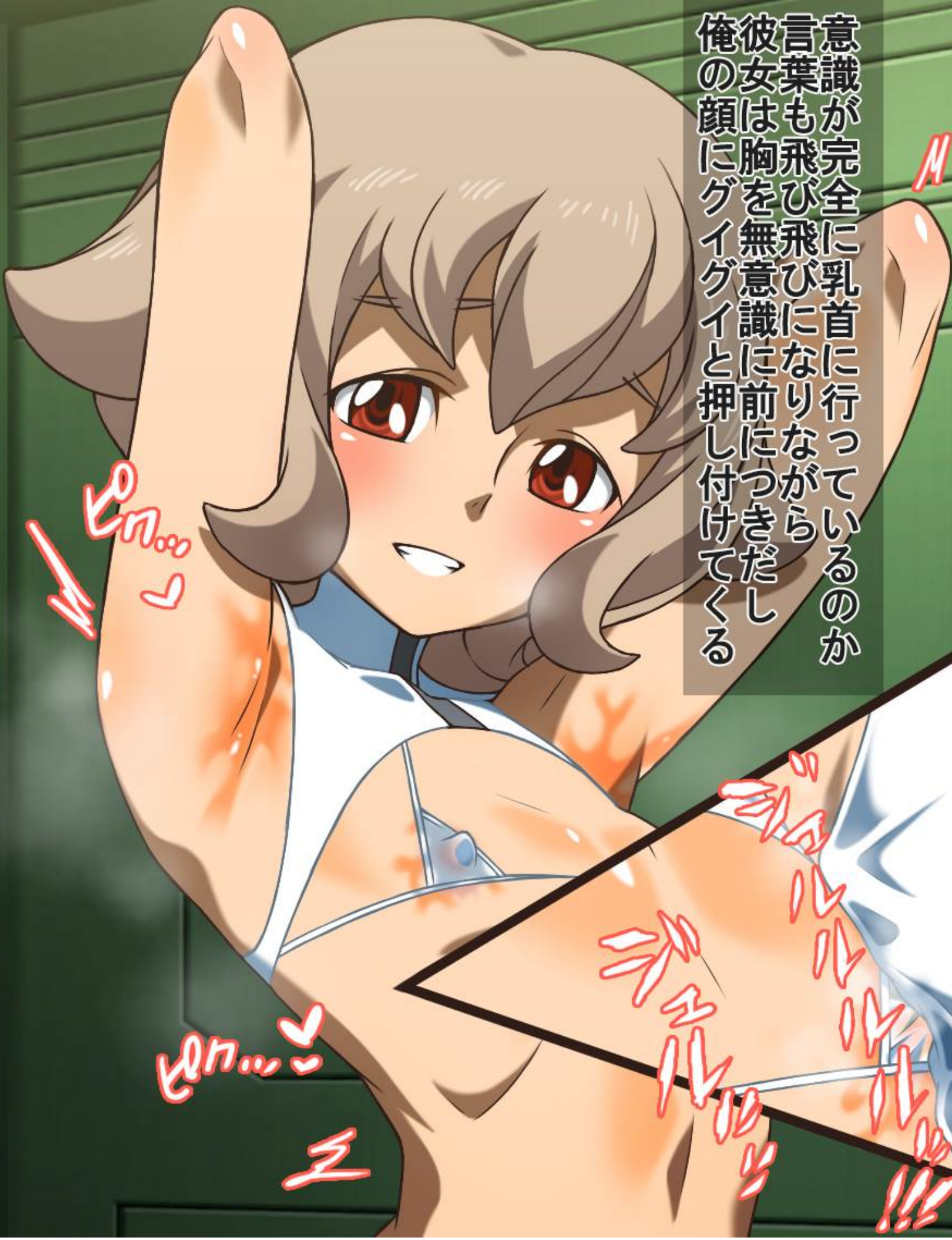
とっさに吸い付かれた彼女は
ビクンと体を大きく動かして
感じつつも強がった態度を見せる
それでも確実に声色は甘くなり
快楽を楽しんでいるのがわかる



舐めたり吸ったりも良いけど...ど♡♡♡
軽く噛みながらさきつちよを
舌ツ♡♡♡でこすったりするの
楽し♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡



意識が完全に乳首に行っているのか
言葉も飛び飛びになりながら
彼女は胸を無意識に前につきだし
俺の顔にグイグイと押し付けてくる



乗っ...私も気分が
ほんとはダメだった
内緒にしてくれるなら
気持ちよくしてあげる...♡♡♡♡♡

良い？内緒だよ？♡♡♡♡♡
これホントは尋問なんだから...
誰にも言っちゃダメだからね♡♡♡♡♡



完全に高ぶってしまった彼女は
こちらの返答を待つ前に
強引に同意を持ちかけてくる
そのまま俺の顔を両手で持ち
自分の方に抱き寄せてきた



えへへへ♪
チューだけ♡♡チューだけなら
してあげても良いからね♡♡♡

彼女が何度も確認のよう
に言う
被せられていたパンツが
取り去られると
彼女の温かくて甘い吐息が
すぐ目の前で感じてられ
柔らかい唇が俺に吸い付い
てきた



ポッポッポッポッポッ



アハハハ

ンチュじチ
レチュゆるるる
ロッ:...♡♡♡
レ♡♡♡
ロ♡♡♡
レ♡♡♡
ロ♡♡♡
レ♡♡♡
ロ♡♡♡
レ♡♡♡
ロ♡♡♡
レ♡♡♡
ロ♡♡♡
レ♡♡♡
ロ♡♡♡
レ♡♡♡

何度が唇が触れた後
すぐに舌が口の中に入り込んできた
彼女の小さな舌が俺の舌に絡みつきた
唇の裏を舐め
甘い唾液を流し込んでくる

ポツポツポツポツ

キキキ



んむうん...♡♡♡ねえ、チュー美味しい？♡♡♡
ね？♡♡♡唾液美味しい？♡♡♡
山♡♡♡飲んでませてもらってあげる♡♡♡
沢山♡♡♡飲ませてもらってあげる♡♡♡
ほっぺもぺろぺろしてあげる♡♡♡



ポッポッポッポッポッポッポッ♡♡♡

キッ♡♡♡



彼女はキスだけでは収まらず
唇の周りや頬までもぺろぺろと舐め目回す
既に口の周りには彼女の唾液で
べとべとになつてしまつた

そして顔いっぱいを包み込む
彼女の体温と匂いに
俺の股間は更にちきれんばかりに
ビクビクと反応してしまつていた



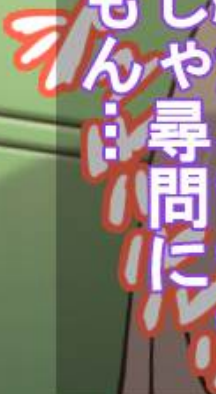
うふふ…♡♡♡お尻にずっと固いの当たってる♡♡♡
もう…こっそりお尻にすりすりしてるでしょ♡♡♡
仕方ないなあ…♡♡♡

ニエロ♡

ヌヌ



本当に内緒だよ♡♡♡
こんなんじゃないもん…
尋問に



彼女が俺の膝の上で動く度に彼女のお尻に
何度も当たっていた俺の股間
その感触をもっと楽しみたいとなったのか
彼女はお尻で俺の肉棒をはさみ
上下にゆっくりと腰を降り始めた



ズキッ

ニユッ

ズキッ

彼女のお尻はとっくに彼女のマン汁と
俺の力お尻でべちよべちよに濡れていた
竿全体をお尻の肉が包み込み
お尻が動く度に亀頭にアナルの感触が伝わる



オ○ンチンあつたかい…♡♡♡♡♡
どう？わたしのお尻気持ちいい？♡♡♡
先っちょお尻に入りそうなくらい♡♡♡♡♡
グリグリしてあげるね♡♡♡♡♡

ね…舌ももっとぺろぺろして♡♡♡♡♡
私の目見つめながらぺろぺろして♡♡♡♡♡
顔中ベチヨベチヨに♡♡♡♡♡
舐めっこしように♡♡♡♡♡



ニユル♡
ヌヌッ♡

肉棒全体を上下にこすったり
アナルを亀頭にグリグリとこすりつけたり
彼女は尻全体を使って
俺の股間を刺激した

同時に口の中に舌を這わせ
頬をぺろぺろ舐め
唾液まみれになった顔に
頬ずりをしたりしてくる

♡

♡
キキキ

ヌヌ

ニユ

彼女の匂いに包まれ
柔らかいお尻で股間を
刺激され続けられた俺の限界は
近かった……

ポツポツポツポツ

♡

キキキ

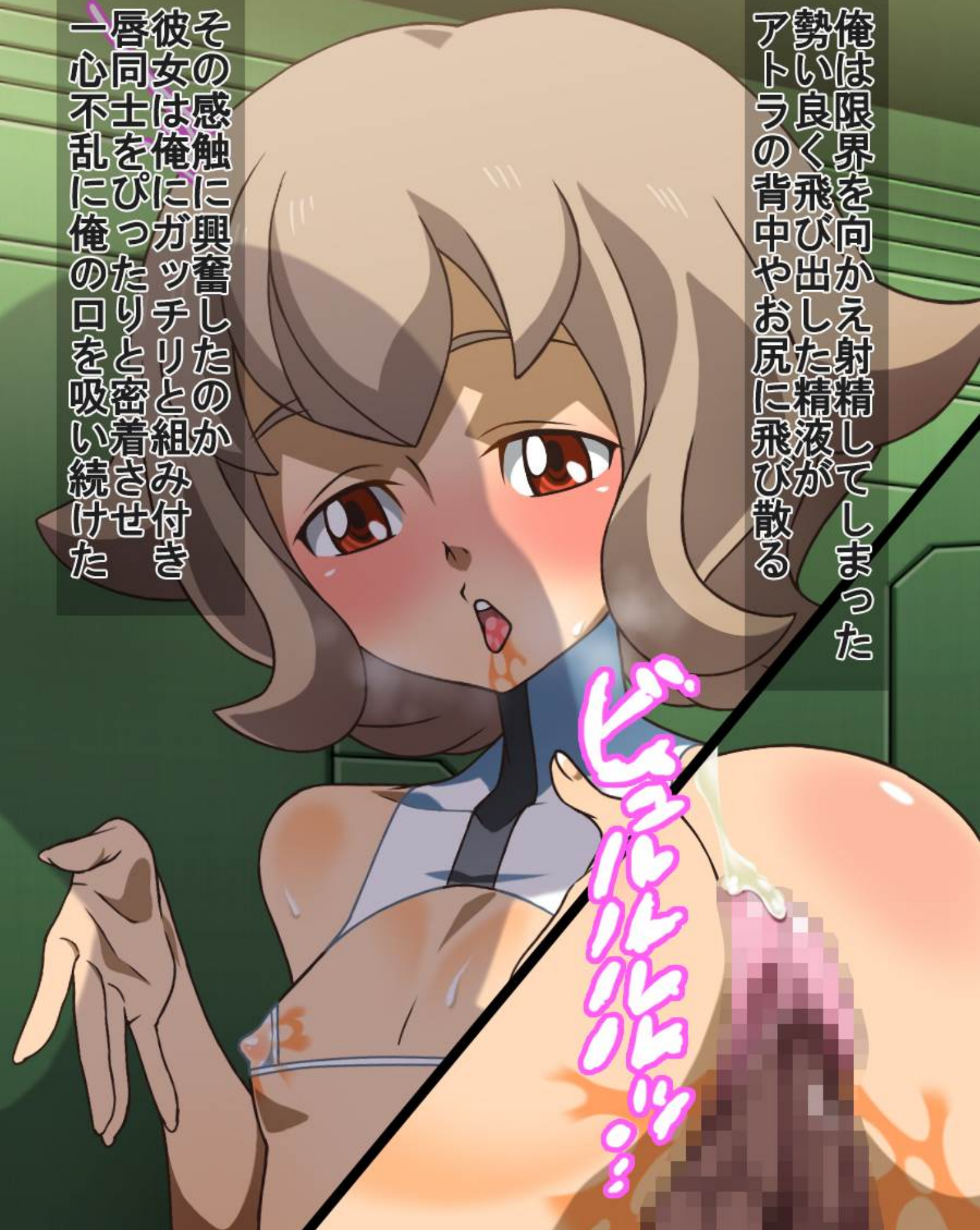
ヌク

ニク

俺は限界を向かえ射精してしまった
勢い良く飛び出した精液が
アトラの背中やお尻に飛び散る

その感触に興奮したのか
彼女は俺にガツチリと組み付き
唇同士をぴったりと密着させ
一心不乱に俺の口を吸い続けた

ビュルルルルルッ...



彼女の尻を派手に汚した俺の精液
その余韻を楽しむかのように
彼女はひたすら俺とのディープキスを続け
お尻を肉棒にすりつけ続ける

ドロ...



チュツ…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
ああ…お尻あったかい♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
ぬるぬる気持ちいい♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
ねえもうちよつとだけ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
もうちよつとだけ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

むちゅっ…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
チュパッ…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
チュレロ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
チュツ…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

ドロ…♡



彼女はそう言うと汗びっしょりの体を
密着させるように抱きつき
再び肉棒の感触をお尻で楽しみながら
しばらくの間俺の口を吸い続けた…

ピロッ
ピロッ
ピロッ


ピロッ
ピロッ
ピロッ
ピロッ

ドロッ…



次の日には双子の女の子が
部屋にやってきた

二人は犬と猫のコスチュームを着ていた
犬の娘がクッキー、猫の娘が
クラッカと言うらしい

Two anime-style cat girls with large green eyes and pink collars are shown from the chest up. The girl on the left has brown hair with a side ponytail and is wearing a yellow top. The girl on the right has brown hair with a side ponytail and is wearing a grey top. They are both smiling and looking towards the viewer. The background is a dark green wall with horizontal lines.

おじやましまーす
今日は私達が
おじさんを尋問
しにきたよ♪

こんにちは♪
えへへ♪
今日はどんな風
に
いじめちゃおっ
かな♪

そうだも！
いいもオニを
いいつみるみたい
してじめようよ♪

あついかも♪
お兄さんかも♪
あれ弱いかも
しれないかもね♪



二人は入ってくるなり
俺のことはそっちなけ
で相談を始めた
そして何やら決めたらしく
彼女たちの持つてきた
紐で腕を後ろ手に
縛られてしまった…
一体何をされるんだらう…



!!!
俺が戸惑っていると
女の子二人は
俺の乳首に吸い付いてきた
クウツカという娘は
俺の乳首を歯で軽く噛み
クツキーは舌先でちろちろと
乳首を舐めてくる



どうですか？
お兄さんも
やっぱりこう
いうの
弱いんですか？

うふふ…♡♡
どうこれ♪
気持ちいい？
うちのオニも
これあげると
うっつて顔な
我慢できなく
なるんだよ♪



女の子に乳首を
いじられながら
背徳感で俺は興奮してしまっ
しかも妹みたいなのの子の
クツキーにお兄さんと
呼ばれた事で背徳感が増し
更に興奮してしまう





うん♪クラツカ♪
じゃあ...♪

あっ♪
やっぱりこういうの
興奮するんだ♪
ね、クツキー♪

わい...♡

わい...♡

わい...♡

わい...♡

わんちゃんのは
お兄ちゃんのは
くっぺーの
ペキーの
ツッコい
ろく
わんちゃんのは
お兄ちゃんのは
くっぺーの
ペキーの
ツッコい
ろく

ニャンニャン♡♡♡
オニイ♪
クックカカカ
乳首み
気持ちいいか？



二人は俺が興奮したのを見ぬくと
すぐに実の兄を相手にするような
口調に変わり乳首を責め始めた
背徳感がビンビン刺激され
これはとっても…やばい感じだ

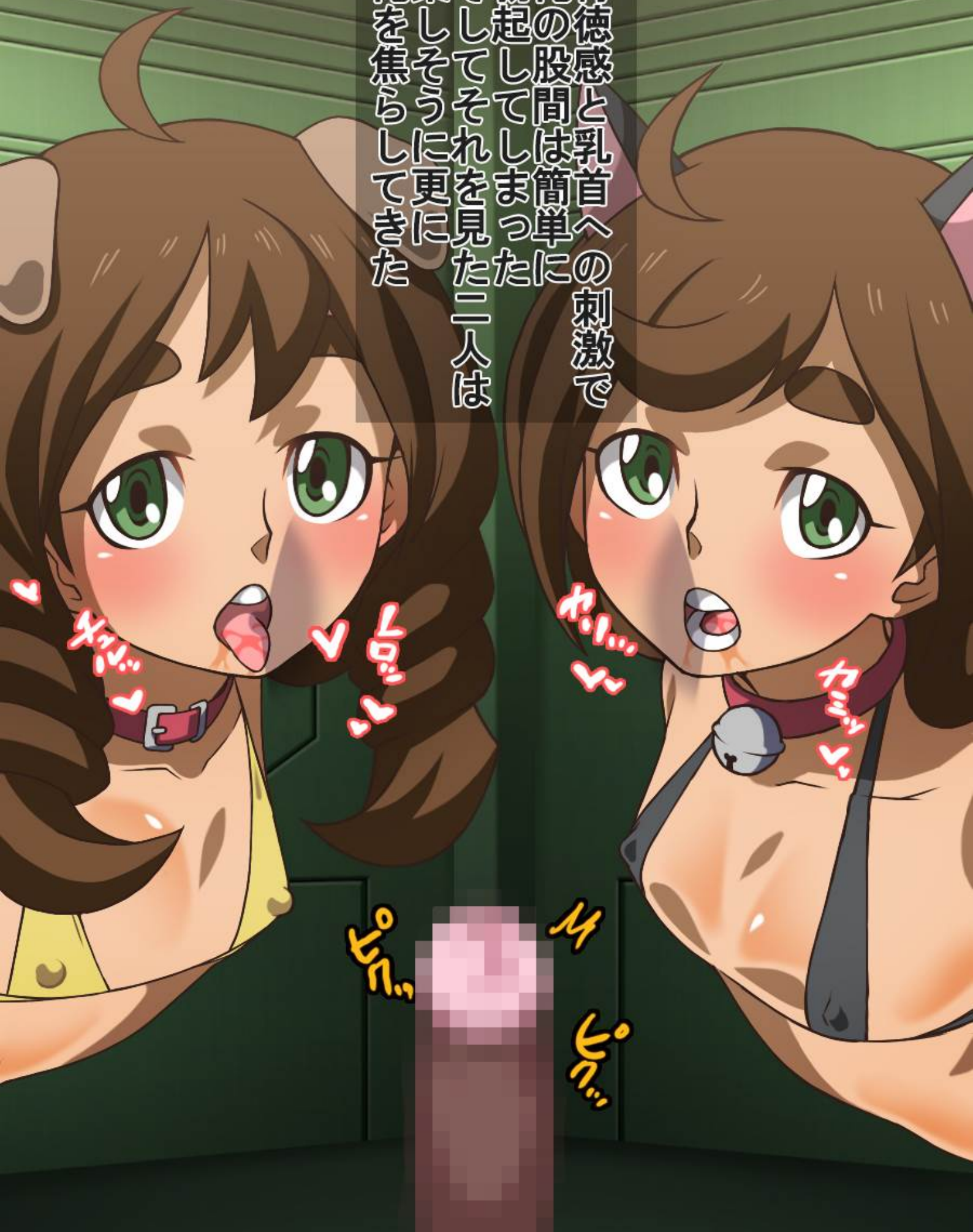


あっ♪オニイ
才○ンチン
勃つてきちやっ
妹に乳首噛まれて
興奮した？♡♡♡

乳首も固いよ♡♡♡
お兄ちゃんよ♡♡♡
舌の先ちんよ♡♡♡
固くなっ乳首で
マッサー！ジして
あげるね♡♡♡



背徳感と乳首への刺激で
俺の股間は簡単に
勃起してしまっただ
そしてそれを見た二人は
楽しんでさらに更には
俺を焦らしてきた

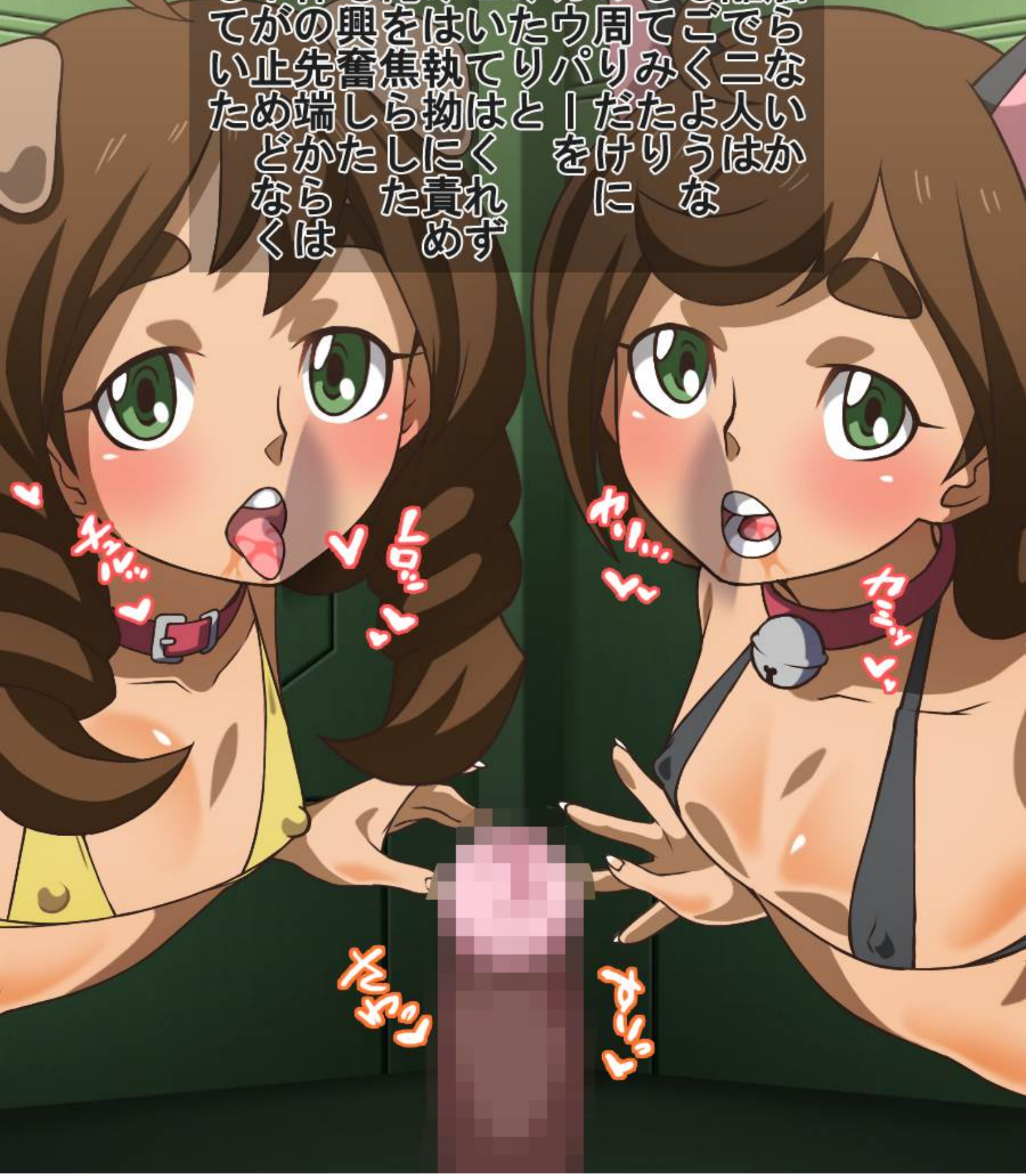


わあ指先どう
っげ先つちし
♡るでいよっ
おね♡いよっ
っ♡♡じだっ
ゆ♡♡♡つけ
っ♡♡♡♡て
♡♡♡♡かな
♡♡♡♡♪

欲シ欲オえ
しいコしい○へ
い?しい?ンへ
♡♡♡♡♪オ
♡♡♡♡♪ニ
♡♡♡♡♪イ
♡♡♡♡♪



触る距離で二人はかな
位の棒をしがよくうな
肉棒をしごきたりな
動作をしみてたりな
尿道口を周みだりに
指先で力のウパに
塗りつけたいと
竿をしがけたり責め
乳首は俺を執拗に責め
二人間は俺を執拗に責め
その間は俺を執拗に責め
俺の肉棒の先端から
力強い棒の先端から
溢れだして止めたから



わん...
わん...
わん...

わん...
わん...
わん...

わん...
わん...
わん...

わん...
わん...
わん...

わん...
わん...
わん...

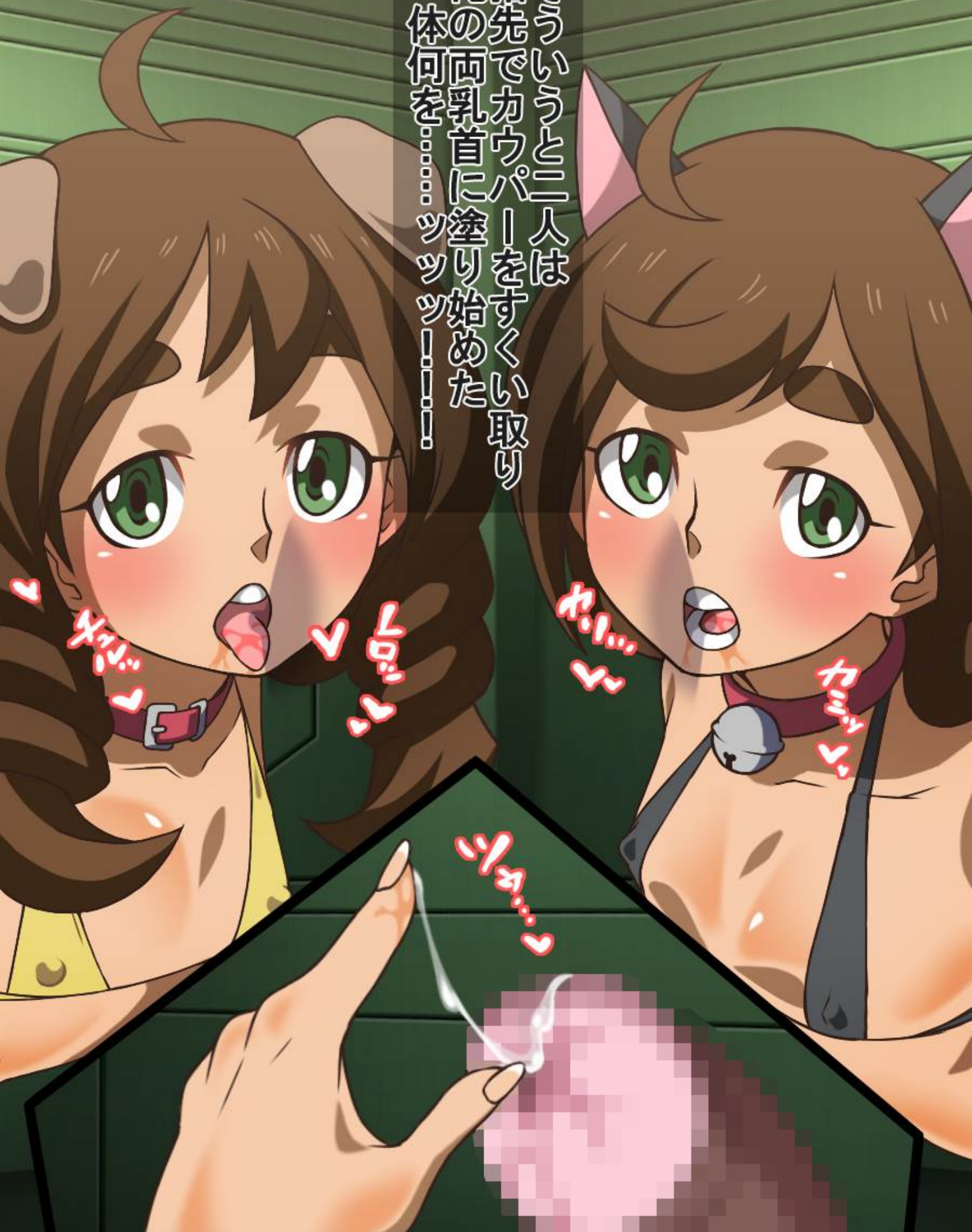
わん...
わん...
わん...

オニ先つちよ
ビチヨビチヨ
ツチンソんに
オ○ンチンに
触つてないの
に

お兄ちゃん
可愛い♡♡♡
ねえ♡♡♡
せつくだけ
このおつか
いから



そういうと二人は
指先でカウパーをすくい取り
俺の両乳首に塗り始めた
一体何を………ツツツツツツ！！！！

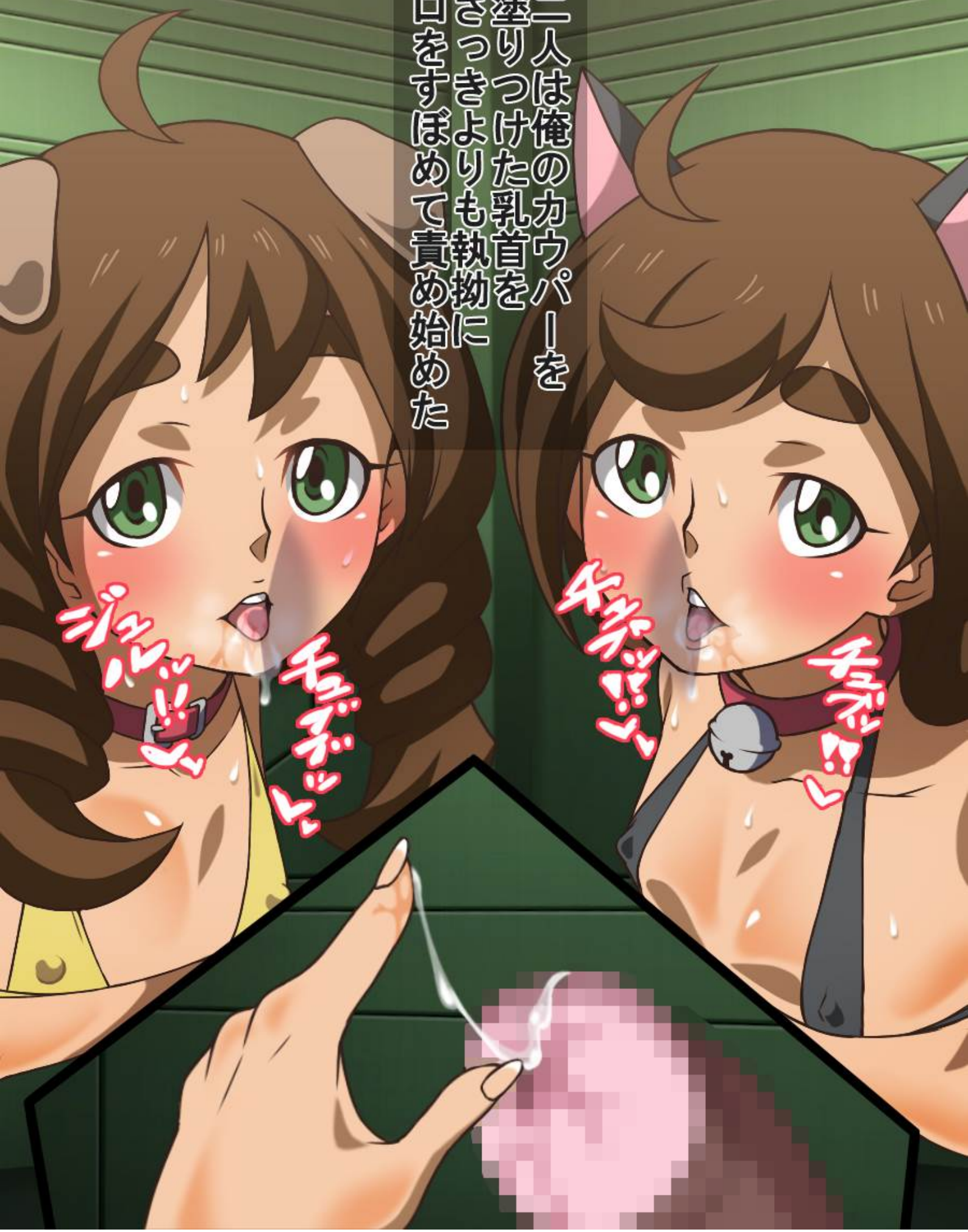


お舌壁又チチ
ものがルユユ
し先で又ルプ
ろつきルツツ
いるたの♡♡
♡つみ♡♡
♡るたい♡♡
♡して
♡で

おオチチん
いニユユツ
シルブ♡
ツのルツ♡
!おツ♡♡
♡つ♡♡
♡ゆ♡♡
♡♡



二人は俺のカウパーを
塗りつけた乳首を
さつきよりも執拗に
口をすぼめて責め始めた



クラツカは舌で
チロチロ舐めながら
上の歯で乳首軽く噛んだり
表面をなぞったりした
クツキーはチュウチュウ
と吸いながら舌先で
乳首の先端を
削るように舐める



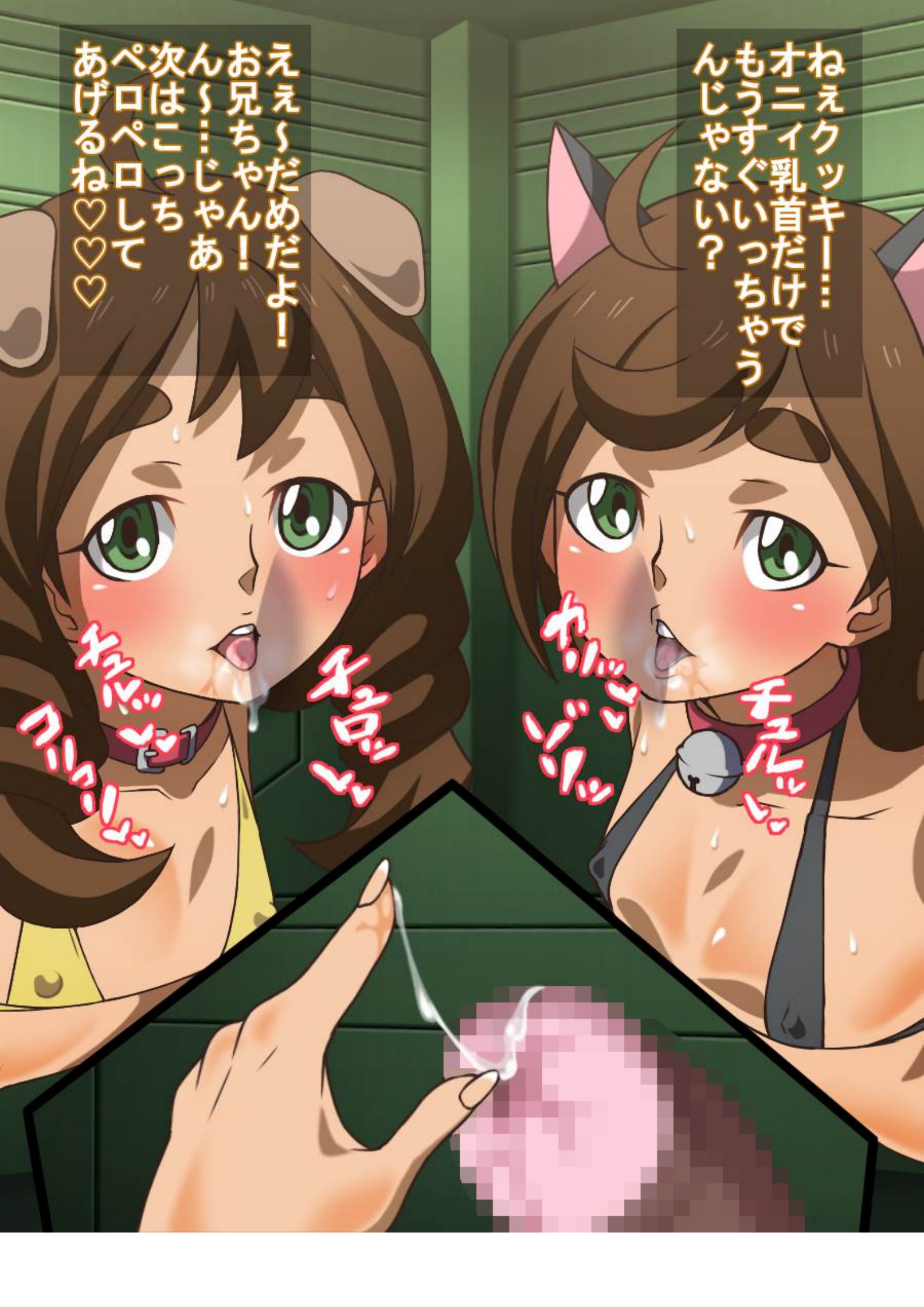
うふふ…♡♡♡♡♡
オニイ凄く気持ち
よさそう♡♡♡♡♡
乳首ヒリヒリするまで
噛んであげるね♡♡♡♡♡

どジュルルッ!
ちようお兄ちゃん♡♡♡
吸よつと強めに♡♡♡
いいうの?♡♡♡

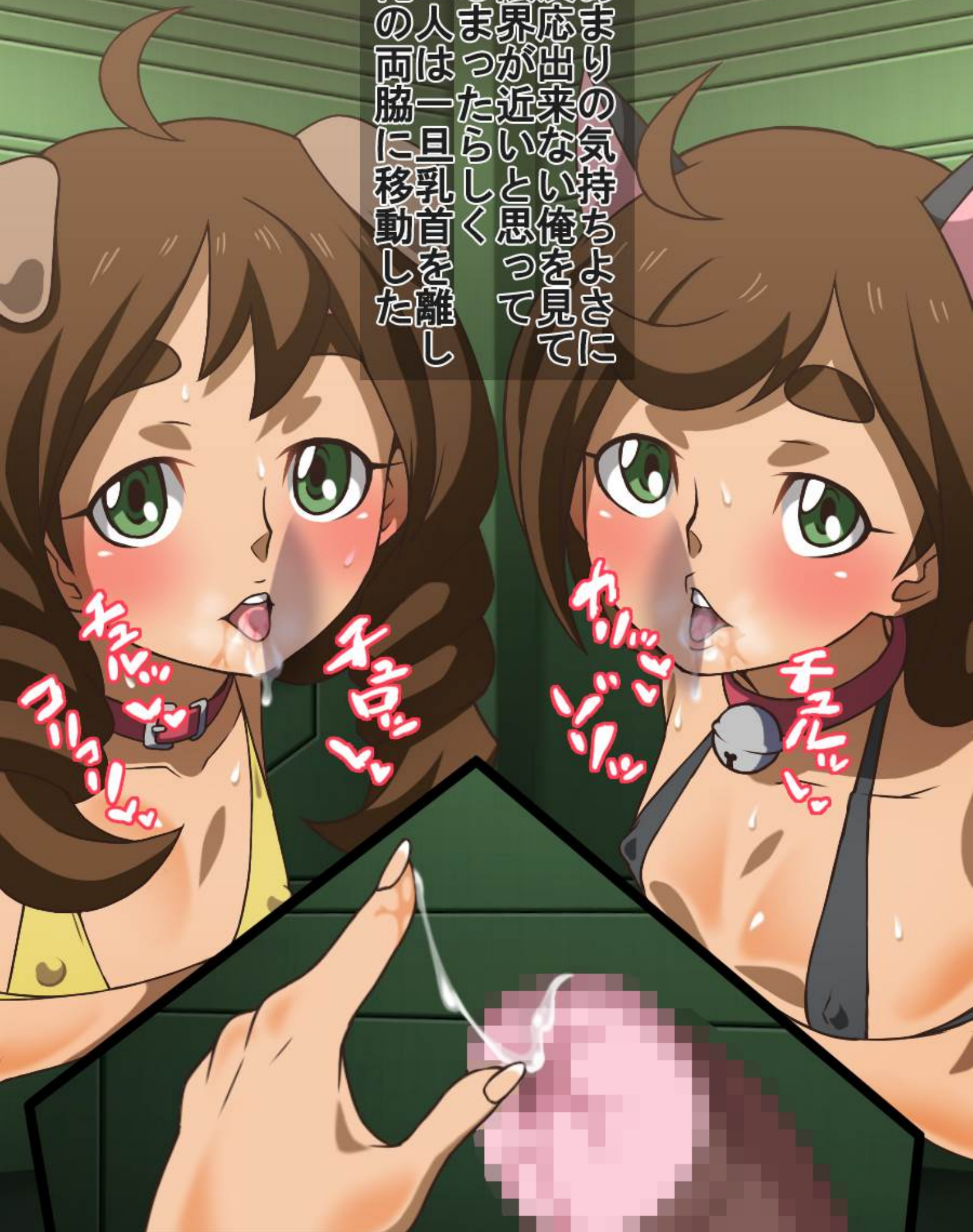


ねえクッキー…
オニイ乳首だけで
もうすぐいっぱいちゃう
んじゃない？

ええくだめだよ！
お兄ちゃん！
ん…じゃあ
次はこっち
ペロペロして
あげるね♡♡♡



あまりの気持ちよさに
反応出来ない俺を見て
限界が近いと思つて
しまつたらしく
二人は一旦乳首を離し
俺の両脇に移動した



ぴちや...ジュルルルッ♡♡♡
 チュルルルッ♡♡♡
 ハユルルルッ♡♡♡
 ア...♡♡♡
 お兄ちゃん♡♡♡
 舐められるの好き？♪



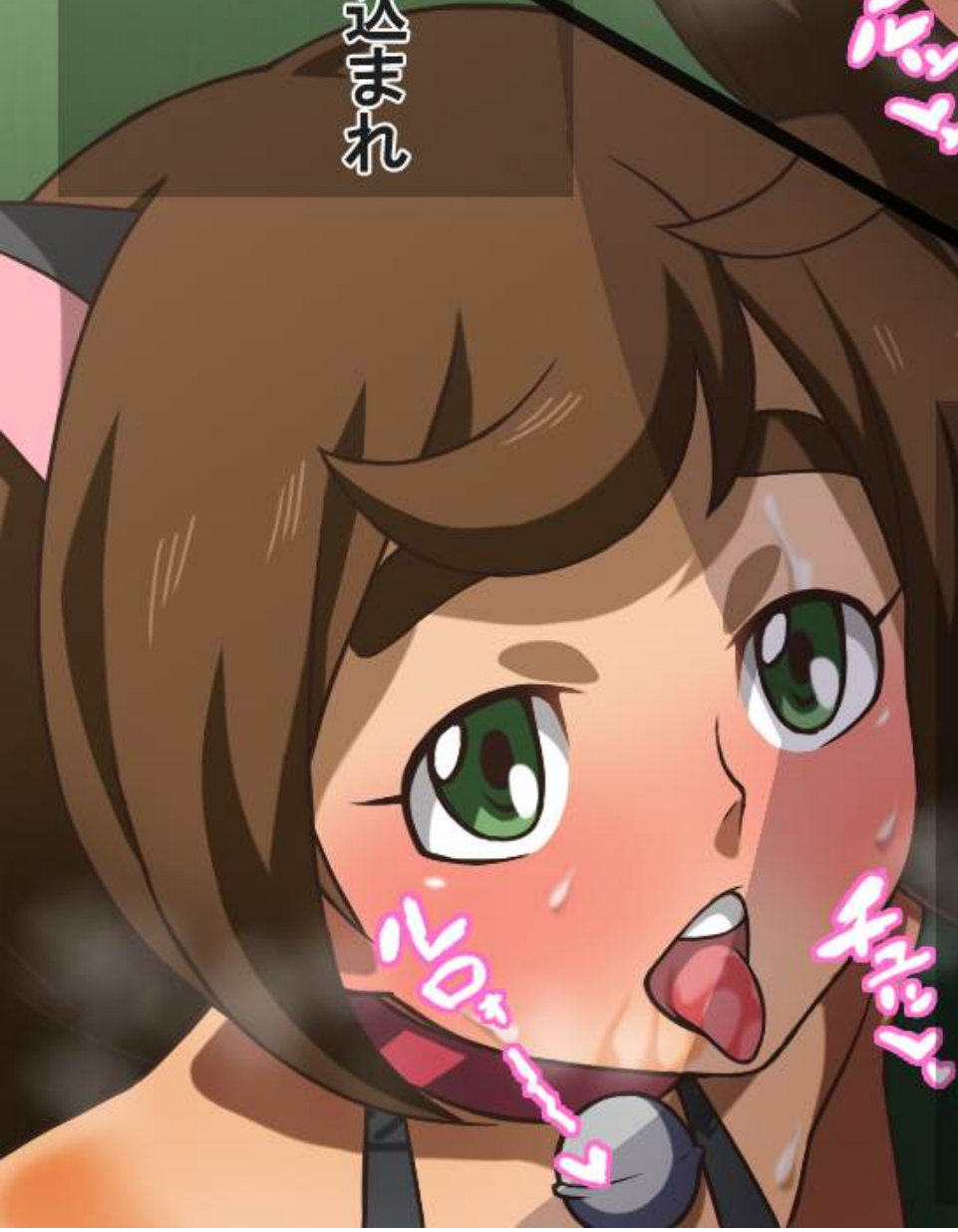
チュッ...♡♡♡チュッ...♡♡♡
 ちんろお...♡♡♡
 ちろちろ♪
 クラツカの方が上手だよね
 ほら首筋も舐めてあげるよ♡♡
 舌あったかい？



左の右にわかれた二人は
俺の耳と首筋を舐め始めた
グツキーの舌が右耳にねじ込まれ
グチュグチュという音と
彼女の呼吸が耳の中響く
彼の耳を刺激したかさも



そしてクラツカは
俺の左耳を舐めていた
耳たぶを唇で啜っていた
引張ったり
固くした舌先で耳の穴を
ほじく様に舐めたりした
そして時々折首筋に
つうつと舌を這わせる



うさ気！ジジ
つつ持っユユ
ときちぷルル
りかいはルツ
しらいある♡
ち顔ん♪ツ♡
やがでお兄！
っずしお兄♡
っつよち♡
てると♪ゃん♡
よ♡
♡



あオ済んち
げニまふユ
るイせふバ
んだもないッ
だからといよ♪♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡





何乳ク乳ク乳そ舌耳そ
 度も首ラ首ッ首してをに言う
 もをッ首ををてね唇をうと
 引カッをい同じをを密着と
 っっ力カはまはじ時に込んで二
 掻力爪み指り俺の来させ人
 いたとじり始めたた

!!!





グチュ♡♡グチュルツ♡♡♡
 どうお兄ちゃん♡♡♡
 クツキーの声大きく聞こえる?♪
 耳ふさいじやったから
 クツキーの暖かい息も
 全部耳の中に入るでしょ♡♡♡

グチュ♡♡♡
 グチュ♡♡♡

グチュ♡♡♡
 グチュ♡♡♡

ズゾ♡♡♡
 はあ♡♡♡
 オニほらあ♡♡♡
 乳首カチカチだよ?♡♡♡
 爪でカチカチされるの♡♡♡
 興奮しちやっただ?♡♡♡

カチ♡♡♡
 ヤリ♡♡♡

カチ♡♡♡
 ヤリ♡♡♡

グニョニョニョ

グニョニョニョ


グニョニョニョ

グニョニョニョ

グニョニョニョ

グニョニョニョ


両耳に唇を密着され
 声と耳の中で舌が
 動きまわる音が
 まるでトンネルの様に
 響いて聞こえてくる
 耳の中を柔らかい舌が
 這いまわる感触で震える
 背筋がゾクゾクと
 加えて乳首への刺激で
 俺はもうイキそうだった
 ？ 人と耳から口を離した瞬間




うふふ♡♡♡だ♡め♡♡♡
今イキそうだったでしよ♪
お兄ちゃんにはもうちよつと
頑張ってもらわないと♪




そうだよ♪
まだ出しちゃだめ♪
もつと私達オニイで
遊びたいんだから♪



もう少しでイキそう
だったのに俺は
少しだけ残念な
気持ちになっ
たし俺で遊ば
ないかツカ
クッ力
変に納得してしま
った



じゃあお兄ちゃん
わたしと大人のチューしよ♪
クッキーのあま〜いっば
沢山飲ませてあげる♡♡♡



じゃあ私は乳首二つとも
もらっっちゃお♪
カリカリしたり
ツネツネしたりして
遊ぶんだ♪♪♪



そういうとクツキーは
俺の上にもたがりて
俺の唇をこじ開けて
舌を入れてきて開けて
口の中舌を動かして
俺の唾液を吸う
グチュグチュと混ぜ
グチュグチュと混ぜ
俺の口へと移してきた

クラツカは俺の後ろに周り
背中から首筋まで舌を這わせた
時折首筋にはあゝと温かい息が
かかると背中がゾワゾワする
後ろから腕を前に回し
俺の両乳首を爪でつまんだり
つねたり指の腹で
撫でたりした

お兄ちゃんクッキーの
っば好き？♡♡♡♡♡
えへへ♡♡♡♡♡
クッキーも好き♡♡♡
んちゅ♪もれろお♡♡♡
もつと♪もつと飲ませて♡
つばもつと混ぜて♡
一つに飲む♡♡♡

グェグェ♡♡♡♡♡
子猫♡

♡♡♡♡♡
Mimi♡♡♡
♡♡♡♡♡

ねえどっちの乳首♡♡♡♡♡
気持ちいい？♡♡♡♡♡
こっちかなあ♪
ツネツネされると♡
お兄ちゃんビクッて♡
するね♡♡♡妹に乳首♡
つねっ♡♡♡
オニイ嬉し？♡♡♡
クヲツカもオニイが♡♡♡
気持ちいいと嬉しいよ♡♡♡♡♡

二人は夢中で俺の口と
乳首を楽しんでいた
が、興奮したクツキが
ついで俺の乳首に手を
伸ばしてしまっただけ
そし乳首を専有していた
クラツカがそれだ
反発してしまっただけ

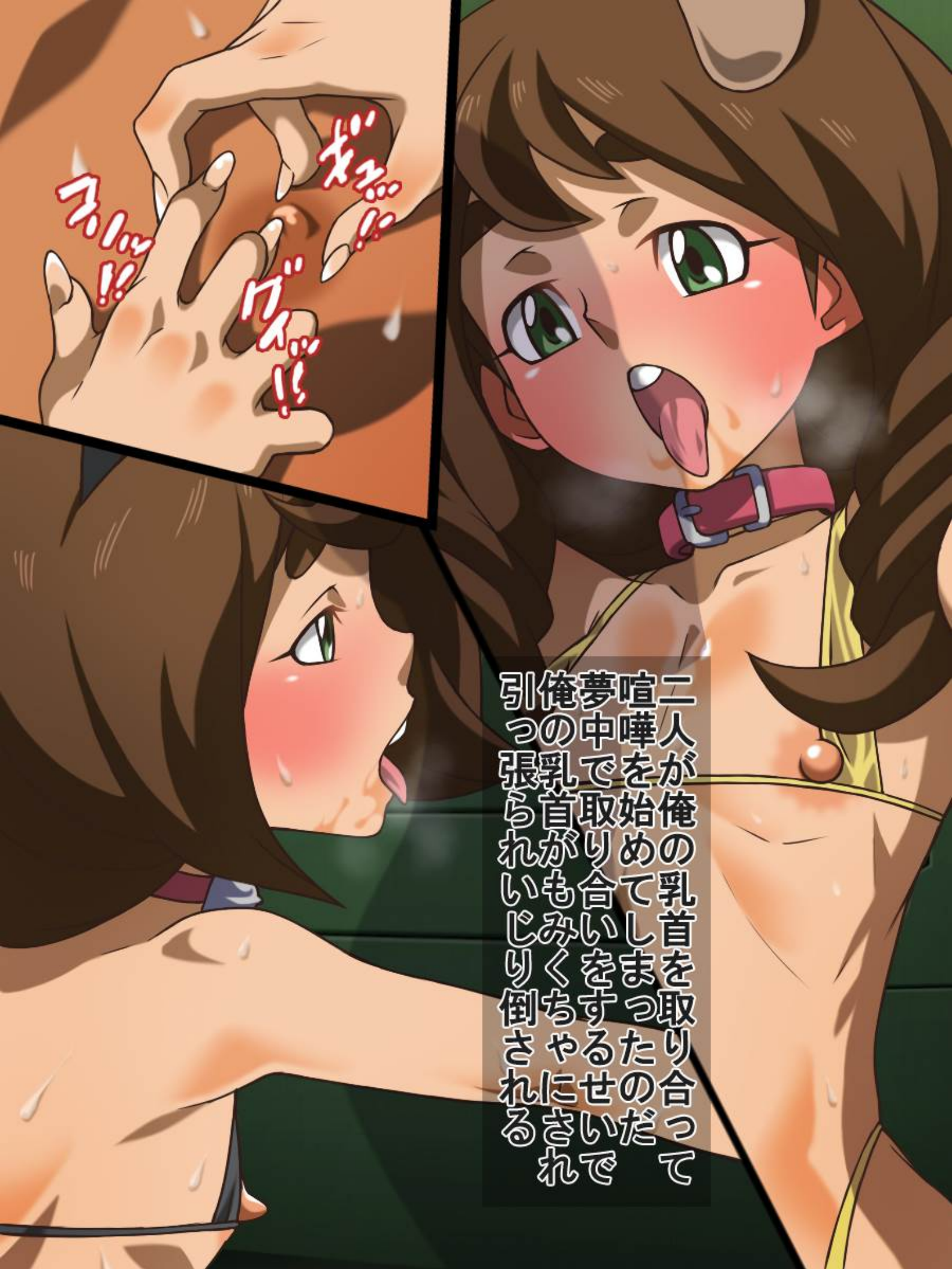




ちよつと！クッキーは
オニイとチュウーしてるでしょ！
乳首はクラツカのだよ！

ちよつとくらい…
私も乳首いじりたいもん！

ダメ！それじゃクッキーの方が
オニイ沢山いじってるじゃん！
ずるい！！

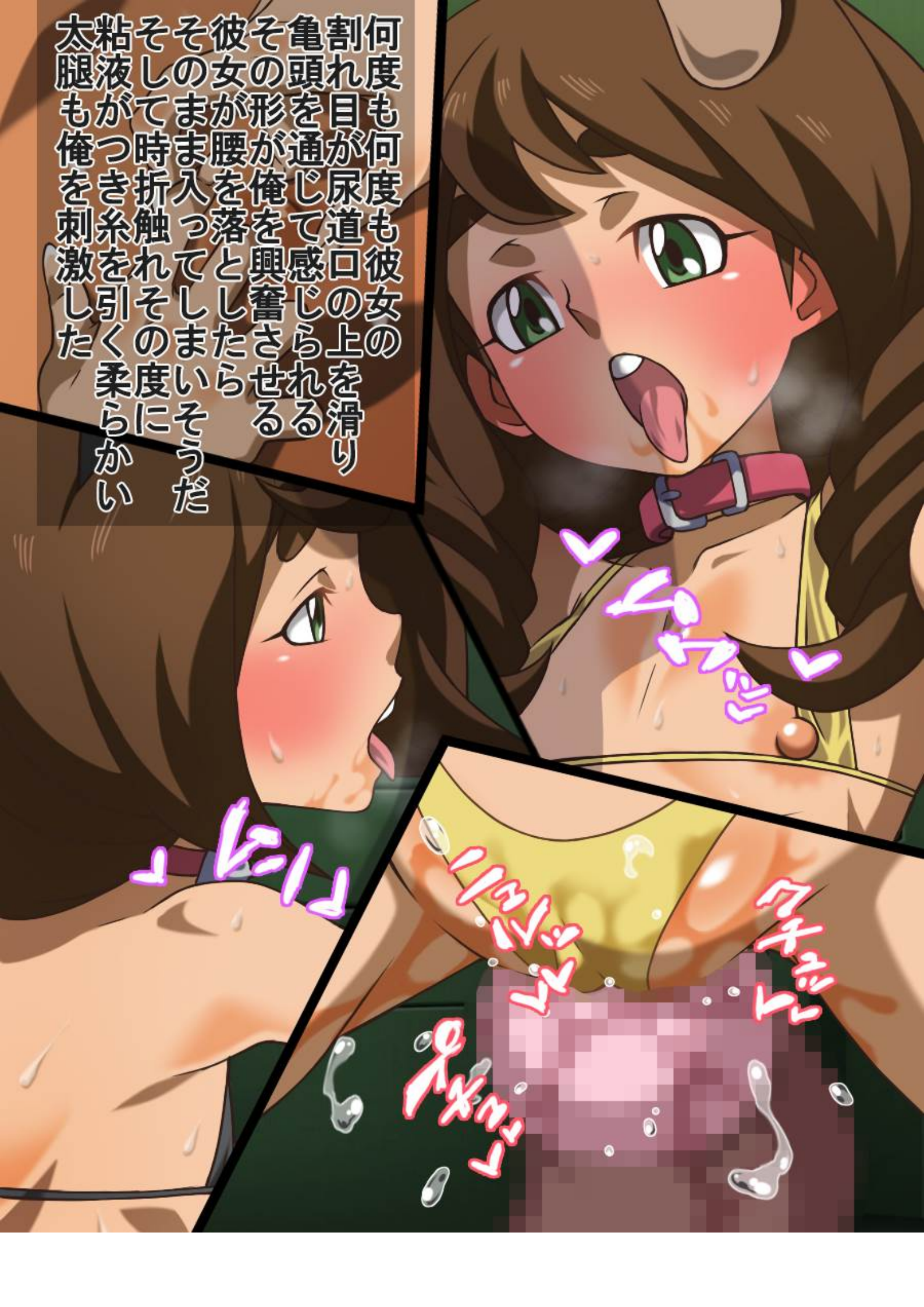


二人が俺の乳首を取り合って
喧嘩を始めたまつたのだ
夢中で取り合いをすせいで
俺の乳首がもみくちゃにされ
引張られいじり倒される

しかも俺の腰の上にもたがり
暴れるクツキーの股間が
丁度俺の亀頭をこすり
刺する形になつてしまつた
お互いの液ですっかり濡れた
クツキーのパンツはと
抵抗もなくツルツルと
俺の龟头の上を滑り
刺激してくる……



何度も何度も彼女の
割れ目が尿道口の上を滑り
亀頭を通じて感じられる
その形が俺を興奮させる
彼女が腰を落としましたら
そのまま入ってしまいました
そして時折触れその度に
粘液がつき糸を引く柔らかい
太腿も俺を刺激した



口元と首筋にかかると温かい息
亀頭をひたすらこする
割れ目の感触
乱暴にじられ続ける乳首
そして次第に濃くなってくる
彼女たちの甘い体臭
それら全てが俺の脳を刺激した
俺は限界に達しようとしていた



きやあつツ
——!ツツ
——!

えっ!?!何?
あつツ!オニイ
イツちやつた?

びしょっ!!

俺は我慢できずに
クッキの割れ目に
勢いよく射精して
ほびびと亀頭と
割れ目がくっつき
精液はあらゆる方
クッキの股間周り
太腿まで飛び散り

びしょ濡れ!!

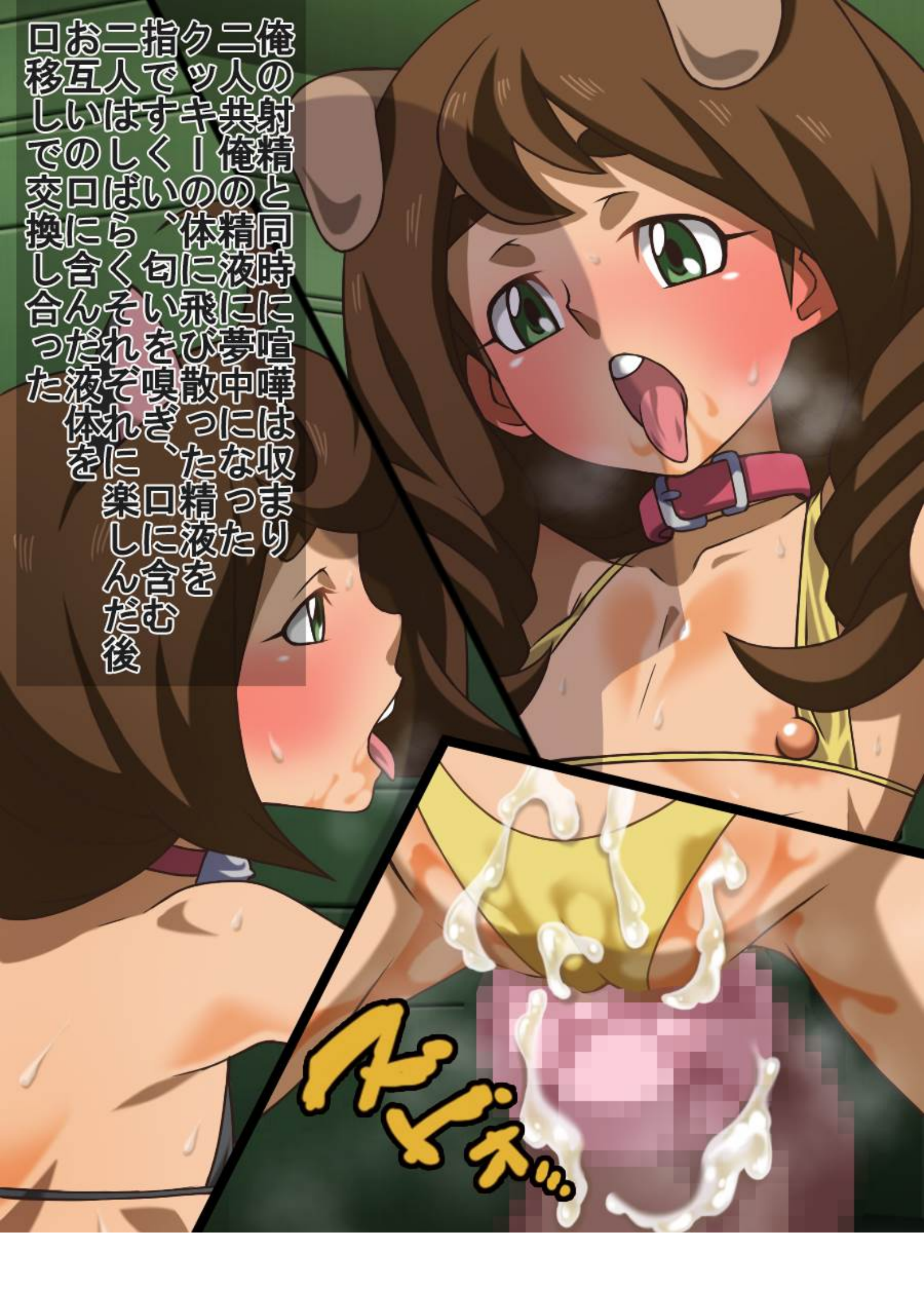


あ！！！！
お兄ちゃん
あつぱい出たね

あつずる
クラツカ
はあ！！
いあ！！
チユルツ

アッアッ

俺の射精と同時に喧嘩は収まり
二人共俺の精液に夢中になった
クツキーの体に飛び散った精液を
指ですくばい、匂いを嗅ぎ、口に含む
二人はしくばい、匂いを嗅ぎ、口に含む
お互いの口を交換し合った後
口移しで交換し合った



精 ク う ク ジ ジ
 液 ラ ふ ラ ユ ユ
 く ツ ふ ツ ル ル
 さ カ ！ カ ル ル
 の ！ お ル ツ
 い お ！ い ル ！
 ♪ 口 ♪ し ツ ♪
 ♪ ♪ い ♪ ♪
 ♪ ♪ ♪ ♪
 ♪ ♪ ♪ ♪

♪ オオッ ♪
 ♪ ♪ ♪

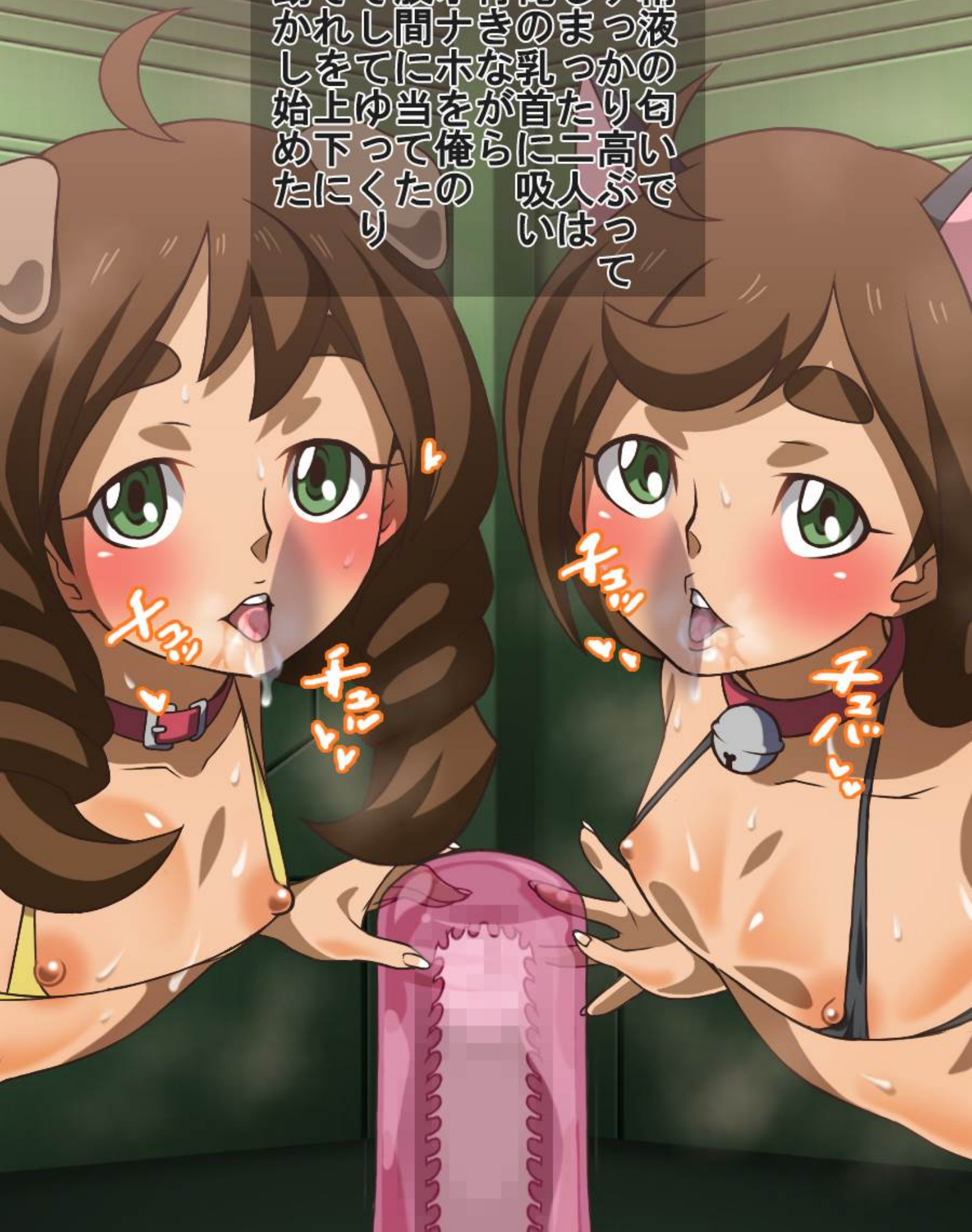
♪ オオッ ♪
 ♪ ♪ ♪ ♪ ♪

あ い ク ベ ロ ク ジ チ
 ふ か ツ チ の ツ ユ ユ
 れ く キ ヨ ま キ ツ ツ
 て さ ！ ベ わ ！ ！ ♪
 く の チ り だ ゴ ♪
 る い 口 ヨ だ っ ク ジ
 よ 匂 か だ て ツ ユ ル
 ♪ い ら よ ♪ ♪ ♪ ♪
 ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪
 ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪
 ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪



二人の少女が俺の精液を
口から口へ移しあい
液のまわりを白濁した
そでぬらぬらと濡らす
吐きながら互いにむさぼる
そのな光景を見てまた
俺の股間はすぐまた
固さを取り戻してまた
少しそれに気づいた
再び俺に寄り添ってくる

精液の匂いで
すっぴん高ぶっ
しまったり二
俺の乳首に吸
付きながら俺
才ナ木を俺の
股間に当てる
その上にくり
動かし始めたり



チュッ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
オニツのオ○ンチン♡♡♡♡♡
凄いいビクビクしてる♡♡♡
まだ先っちょよ♡♡♡♡♡
敏感なんでしょ♡♡♡♡♡
もっとな刺激あげる♡♡♡
カリッ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
カリッ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

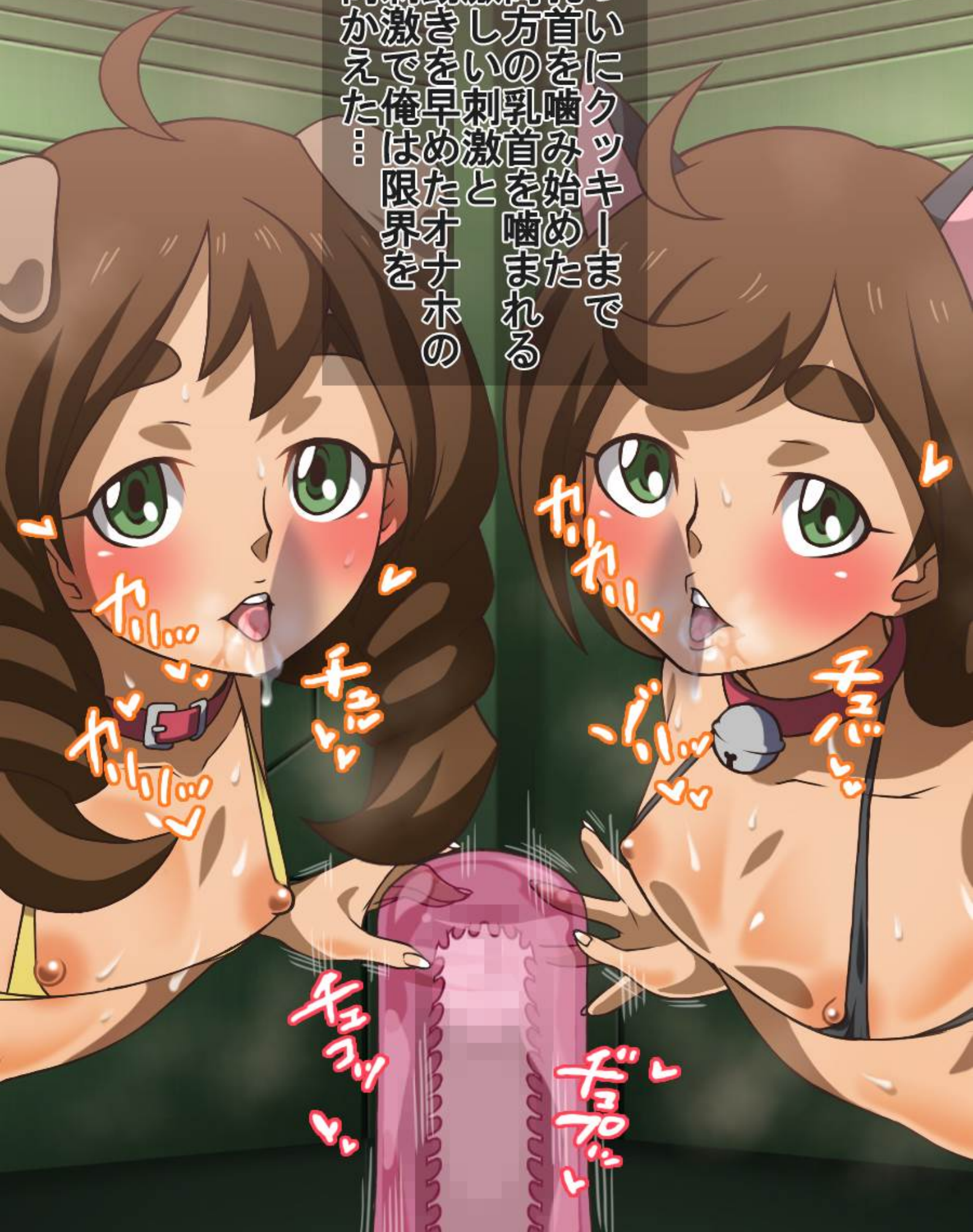
お兄ちゃん辛い？♡♡♡♡♡
お○ンチンでも♡♡♡♡♡
うふふ：だも♪
まだダメだよ♪
ミルク出るまで♡♡♡♡♡
頑張りっ♡♡♡♡♡
クリクリ♡♡♡♡♡
クリクリ♡♡♡♡♡



先程射精したばかりの
俺の股間はまだまだ
敏感な状態にオナホの
なっぺおりにオナホの
内壁の凹凸が龟头を
こする度に敏感に
反応してしまおう
二人は俺の反応を
楽しむように
オナホを動かす
スピードを早め始めた
同時にクラツカは
乳首を前歯で噛み、
クッキーは舌先で
激しく乳首を転がす



ついにクッキーまで
乳首を噛み始めた
両方の乳首を噛まれる
激しい刺激と
動きを早めたオナホの
刺激で俺は限界を
向かえた…



わあ♡♡たあくさん
出てきたねえ♡♡♡
オ○チも♡♡♡
ビ○クンも♡♡♡
動いちゃう♡♡♡
お兄ちゃん♡♡♡
私達のオナホ♡♡♡
気持ちよいか？♡♡♡

見てみてクッキー♡♡♡
お兄ちゃん♡♡♡
精子出してくるところ♡♡♡
丸見えだよ♡♡♡
あんなに出したのに♡♡♡
まだビュビュ♡♡♡
出てきてる♡♡♡

ドゥドゥ...

ビュク...!!

敏感な亀頭と
乳首への絶え間ない
刺激で俺は絶え間ない
激しく絶頂した！
自分でも抑えられない
程の間も痙攣し
その度にまだ亀頭が
うずくまっていた
感じてしまった



ビクッ...

ビクッ...!!



!!!

チュッ!!
グッ!!
グッ!!

チュッ!!
グッ!!
グッ!!

チュッ!!
グッ!!
グッ!!

ごめもんねお兄ちゃん
でもおつともつと
私達お兄ちゃん
欲しくなっちゃんのミルク
クツキー達も
頑張るからお兄ちゃんも
頑張るからお兄ちゃんも

オニイ今油断
したでしよ♪
敏感ち○ぽに♪
高速シコシコ
攻撃い♡♡♡
えっ♪オナホ回して
先っぽグリグリ
してあげる♡♡♡



チュッ!!
グッ!!
チュッ!!
グッ!!

いきなりの不意打ちに
腰がビクンビクンと
跳ね上がった
あまりの亀頭への刺激に
こすられる度に
腰が痙攣するのを
自分でも止められない
それでも二人は
オナホをしごく
スピードを緩めず
楽しそうに一層強く
手を上下させた



チュグッ!!
ググッ!!
チュグッ!!
ググッ!!

その後の俺は
強制的に2回
射精させられ
その間も亀頭
刺の激で暴れ
事が終わっても
動気がなくなり
ぐったりと疲れ
果てるのだった…



そしてまた翌日、今日はクーデリアが部屋にやってきた

ずっと責められてばかりで
たまには挿入とかもしたいでしょう？
今日は息抜きも兼ねて
女性の相手をさせてあげようかと思ひまして(笑)

だそうだ…どういふ風の吹き回しなんだろう
俺は一応手錠を掛けられて部屋を移動した

俺は少し歩き倉庫のような部屋に案内された
扉が開かれると中から猛烈な湿気と
何だろうこの匂いは…汗…？
いやそれ以外に凝縮された女の体臭が
中から溢れ出してきた…



薄暗い部屋を目を凝らすと中に女が
寝かされていた
ギャラルホルンの軍服？の様な
デザインの薄いタイツ生地のような
コスチュームを着て汗だくになっている
汗でコスチュームはピッタリと彼女の
肌に張り付き股間には
2つのローターがうごめいていた…
俺は匂いの元がこの女だとすぐに理解した

彼女は先日捕まえた捕虜なんです
何故捕まったか？まあその辺は
どうでも良いじゃないですか
それより彼女ずうっとあの状態で焦らされて
発情しっぱなしなんです
あなたには今から彼女を犯してもらいます♪

ムンムン...





おんんッ!

ゴッ

ゴッ

ゴッ

クーデリアが彼女の股間の
ローターを取り外し
秘部を露わにした
相当敏感になっ
クーデリアが少
捕虜の女は獣の
ビクンと体を震
させた

グ
ハ
ア
ッ

何日間こうして
穴の奥からダラ
肉ヒダがひくひ
くひくと物欲し
そうに動いてい
た

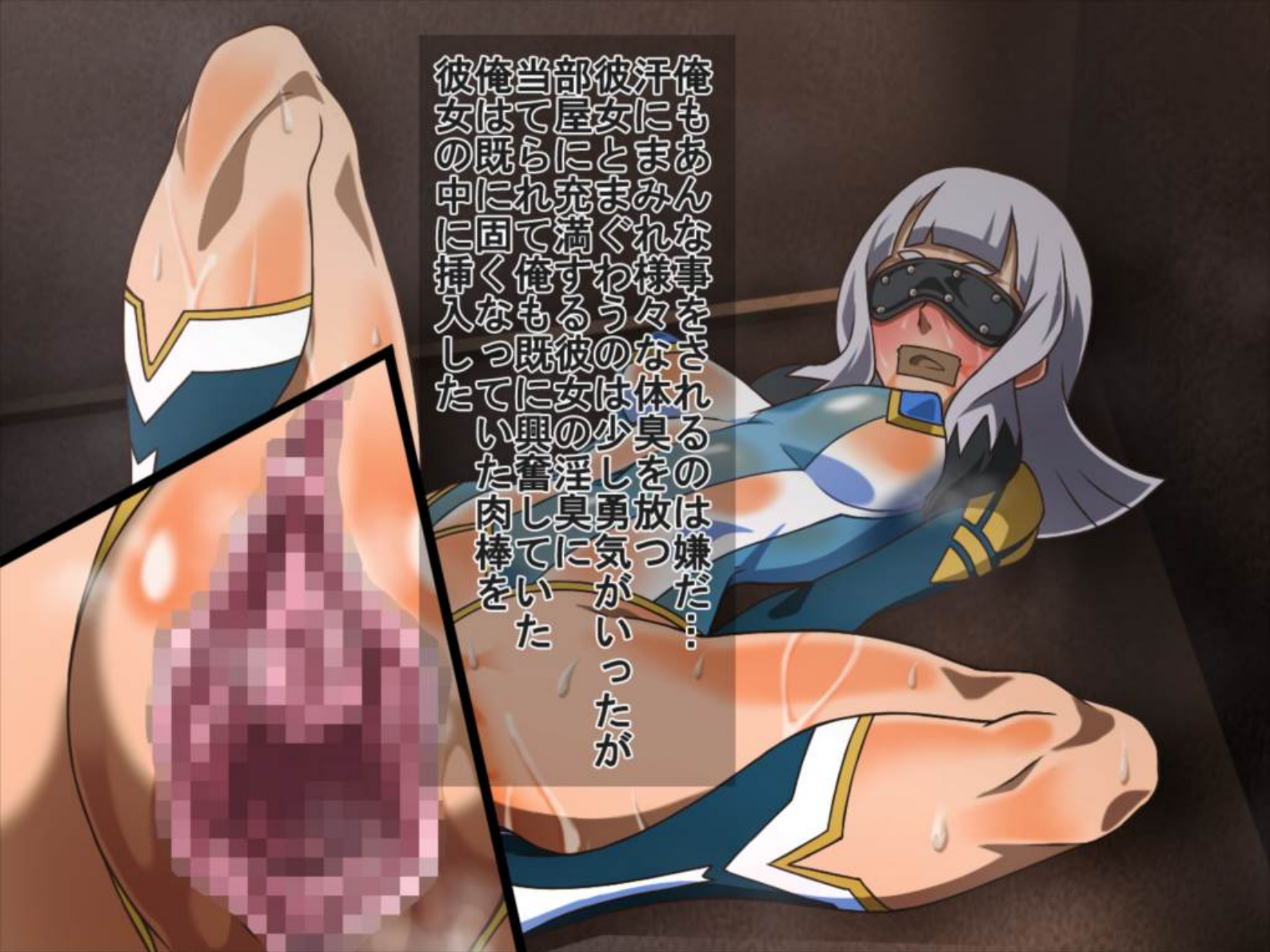
彼女の秘部は

ッ

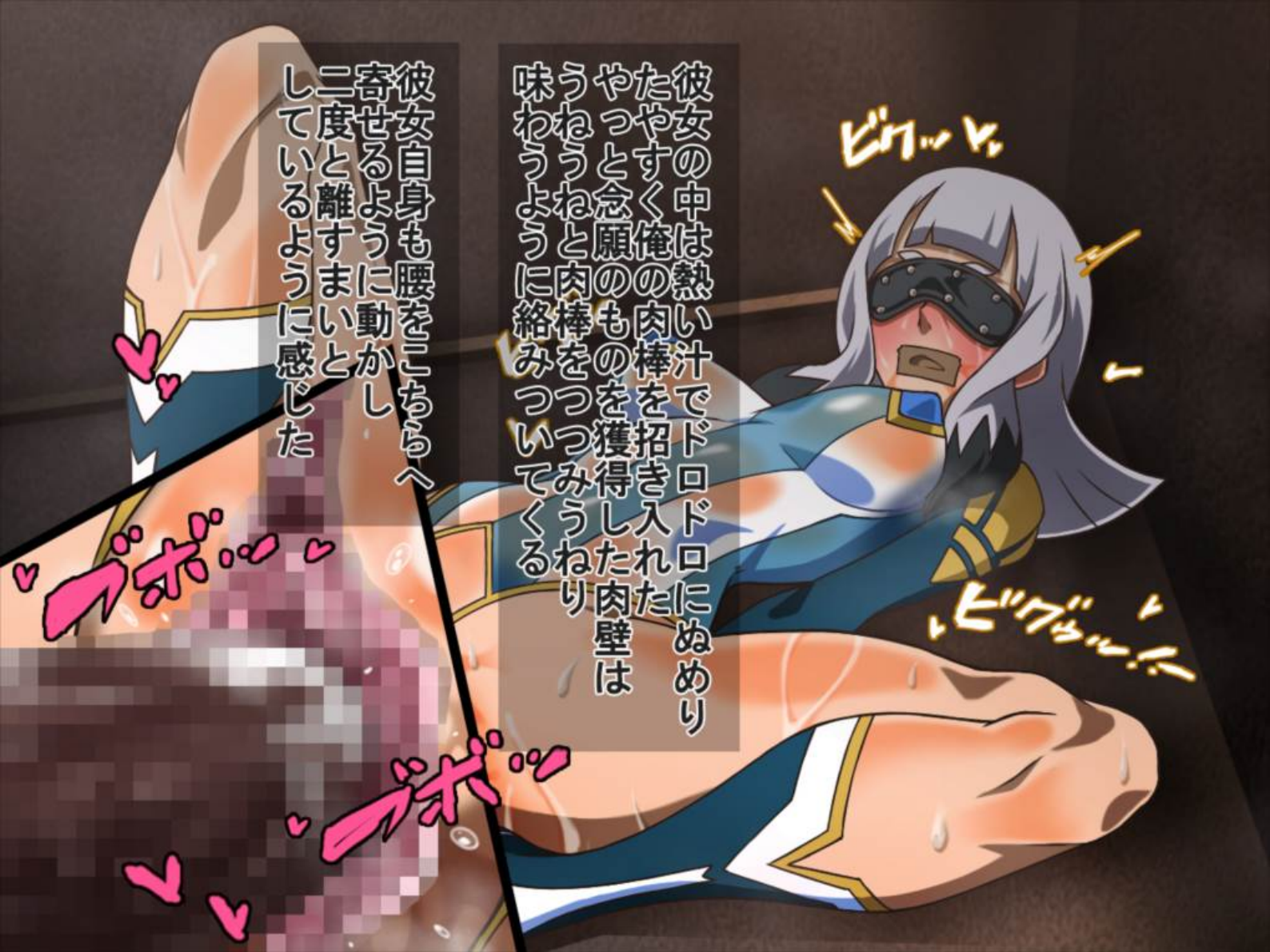




さ！彼女を犯しなさい♪
彼女の性欲もそろそろ限界です
人助けと思えば楽なものでしょうか？
それとも…あなたもこういう
尋問にしまししょうか？



俺もあんな事をされるのは嫌だ…
汗にまみれ様々な体臭を放つ
彼女とまぐわうのは少し勇気がいったが
部屋に充滿する彼女の淫臭に
当てられて俺も既に興奮していた
俺は既に固くなっていた肉棒を
彼女の胸に挿入した



彼女の中は熱い汁でドロドロにぬめり
たやすく俺の肉棒を招き入れた
やっとな願いのものを獲得した肉壁は
うねうねと肉棒をつつみうねり
味わうように絡みついてくる

彼女自身も腰をこちらへ
寄せるように動かし
二度と離すまいと
しているように感じた

ビクッ

ビクッ

ゴボッ

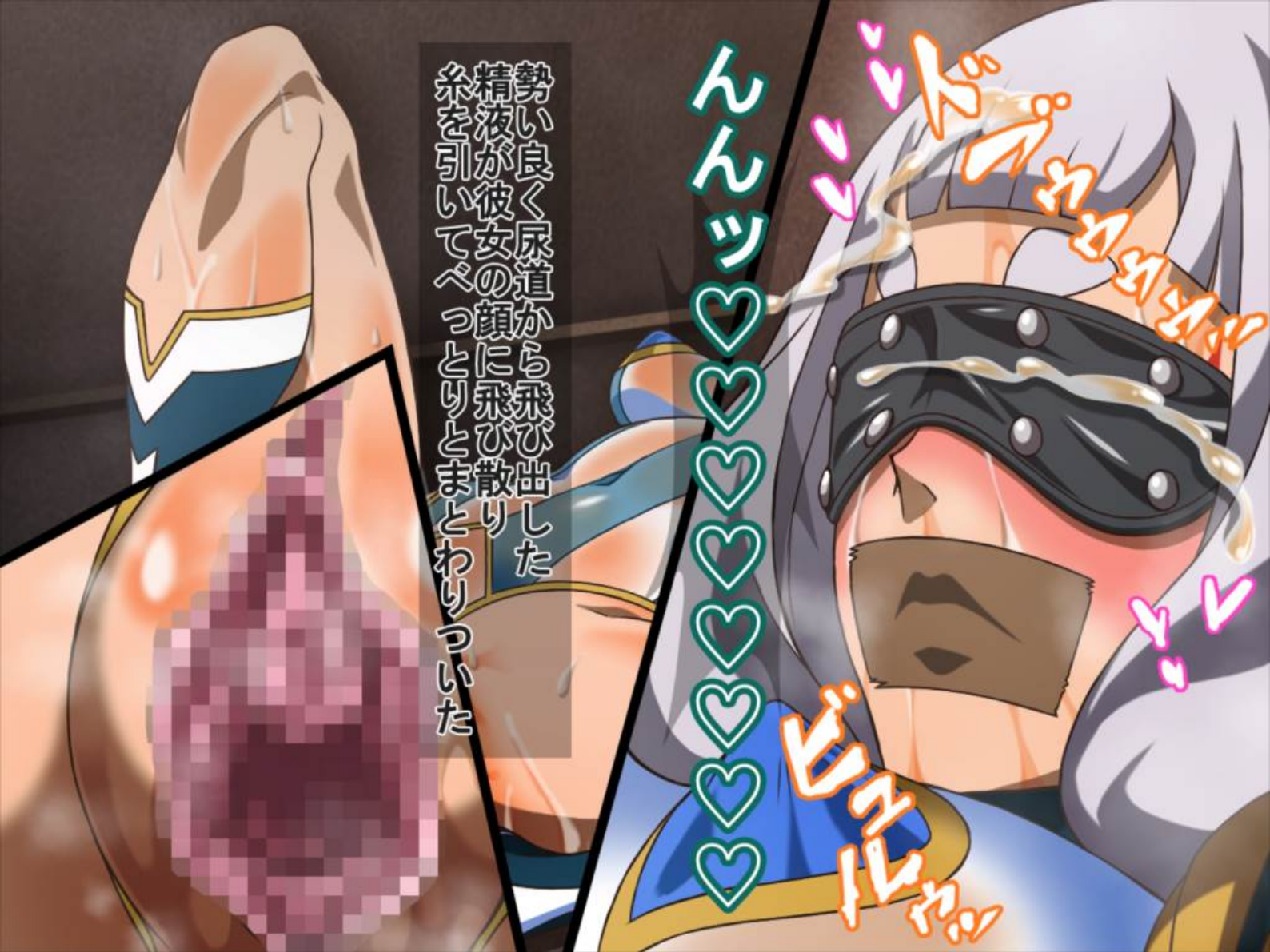
ゴボッ

♡♡

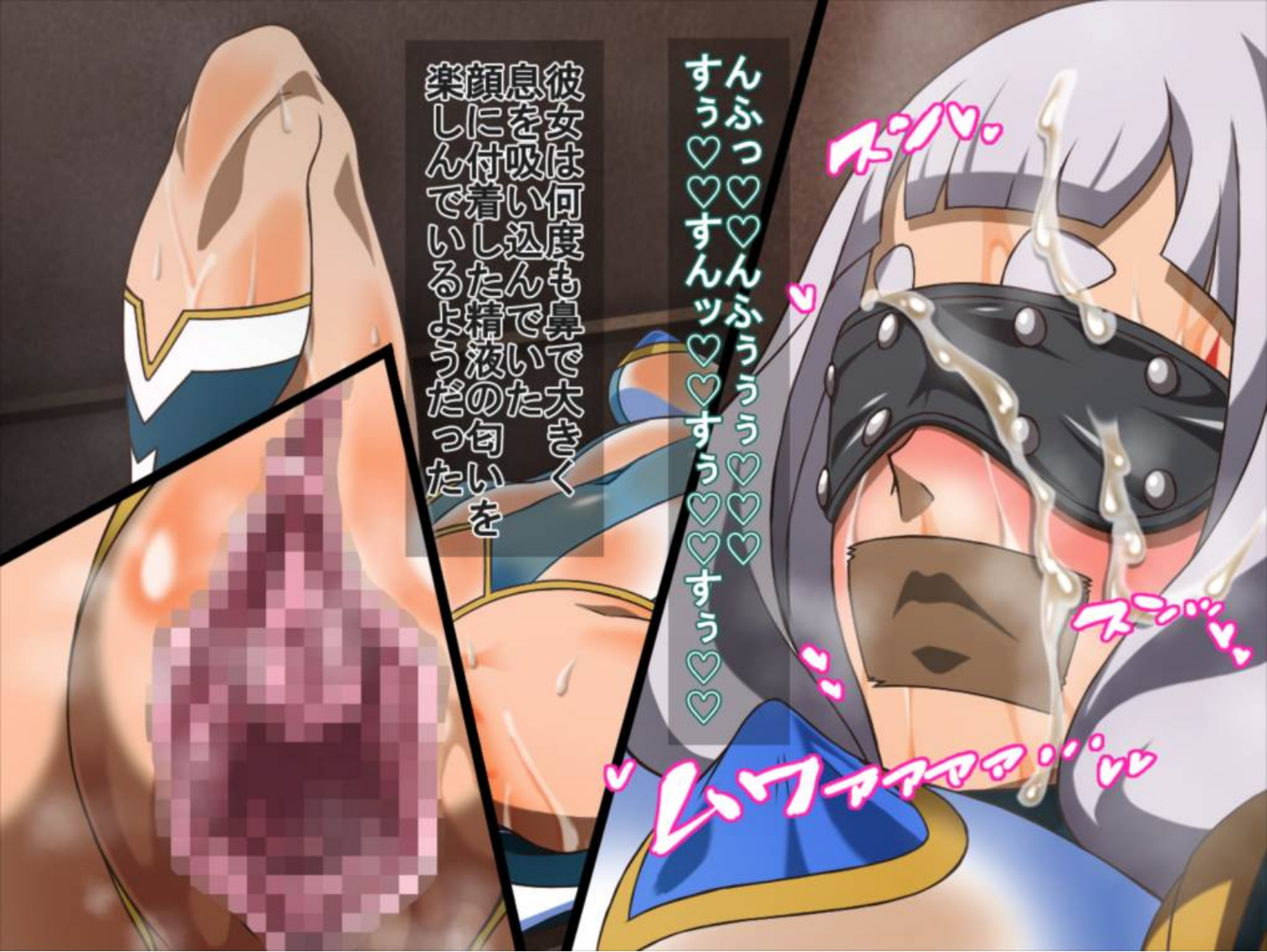
あっいきそうですか？
中はまだダメですよ♪
まずは顔に出して
あげて下さい♡

！？ツ
俺はそんなにわかりやすい
表情をしないでいたのか？
そう考えると同時にやりたかった
この女の顔にかけたり湧き上がった
言う欲望も俺の肉棒を
俺は射精寸前の肉棒を
彼女はから引き抜いた





勢い良く尿道から飛び出した
精液が彼女の顔に飛び散り
糸を引いてべっとりとまとわりついた



彼女は何度も鼻で大きく
息を吸い込んでいた
顔を付けていた精液の匂いを
楽しんでるようだったいを

すん♡♡♡すん♡♡♡すん♡♡♡すん♡♡♡すん♡♡♡すん♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

うふふ…嬉しそうに
精液の匂いでもすわね♪
じゃあ汁まみれで汚れた
あなたのおそこも彼女に
綺麗にしてももらいましょ
うか

そう言うときクーデリアは
彼女の回元のテープと
アイマスクを外し始めた



アイマスクとテープを外された
彼女はキツときつい目で
俺たちを睨んだ
しかし相変わらず顔は紅潮し
鼻ですんすんと息を吸い
精液の匂いを嗅いでいるようだ



アッ
アッ

あらあら怖い目つきですね♪
でもまだ物足りないのでしょぅ？
わかっただけいます♪さ、彼女に
オ○ンチンを出してあげて下さい♪
きつとしゃぶりますわ♪
綺麗にしてくれますわ♪



言われるままに彼女の
鼻先へ肉棒を突き出す
こらえてはいるが明らかに
呼吸はあらくなり
彼女の鼻息が龟头をくすぐる
股間の匂いを必死に嗅ごうと
しているのがよくわかった



我慢しなくても良いですよ♪
本当は欲しくて仕方ないでしょう♪
この前わざとこの部屋に洗濯物の
男物のパンツ落としたりおいたの
あなたはずっとしてやぶっていたの
見ていたのですから♪
今どこに隠してるのですか？♪



恥ずかしがり屋の女は、真赤になつたのだらう
彼女の顔が、真赤になつたのだらう
目に涙が、真赤になつたのだらう
そなたの女、真赤になつたのだらう
折れた棒を、真赤になつたのだらう
俺の肉棒を、真赤になつたのだらう

ツツッ!!!



じんふっ♡♡♡んふう♡♡♡ッ♡♡♡
ジュパッ♡♡♡ジュルルルッ♡♡♡

表情とは裏腹に彼女は下品な音を
立てながらジュルジュルと肉棒をすすった
彼女の薄い唇が亀頭をつつみ
舌が裏筋を這いまわり激しく舐める



ジュルツ
るろツツ
♡♡♡
レロロン
♡♡♡
レロツツ
♡♡♡



彼女には続けて龟头を
執拗に舐めて来た
龟头の外周に沿って舌を
ぐるぐる回し舐め
舌の腹や舌の裏で肉棒の
感触を味わう
カウパがあふれる度に
舌先が尿道をすくい
彼女の喉がゴクゴクと鳴った



し早先先確し気
れくっつかあ持
ま精ぽぽあち
せ液をがなまよ
んが沢弱たすさ
ね飲山か私ねそ
♪め刺つの時♪う
る激たでも顔
かすすすよ
もるととね

クク反彼ク
でリ応女は
ほクし、そ
じクリ、の
くりと亀頭
つと舐め
たりめ尿
たり尿道
した道口
たををを



ズイシューー！♡♡♡

突然の射精に驚いたようだが
彼女は嬉しそうに声をあげた
すぼめたい口の端から
精液が押し出されて
飛び散った

ビュッ
ビュッ
ビュッ

グング
チ…チ
ユすユ
ツうツ
♡ー♡
♡♡♡
グ♡グ
チふニ
ユうユ
ツール
♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡

彼女
の口
から
股間
を
離
した
後
も
彼女
は
せ
っ
か
か
の
精
液
が
も
っ
た
か
い
な
い
か
の
様
に
飲
み
込
ま
い
な
い
か
ら
あ
ふ
れ
い
た
そ
の
口
の
中
か
ら
あ
ふ
れ
い
る
匂
い
を
味
わ
う
よ
う
に
何
度
も
深
く
鼻
で
息
を
す
る



本当はもつともつと
欲しいのですよね♪
せつかくですからね♪
マ○コでも味わいたい
ですよね♪

バクッ
バクッ
バクッ
バクッ
バクッ
バクッ

クーデリアの言葉に
彼女がまたビクッと反応した
先程まで形だけでも
釣り上げていた目は
期待の色に変わった
懇願するようにつめていた
クーデリアを見つめていた



仕方ないですね♪
実はこちらの方も捕虜でして
あなたばかりに我慢させるのも
酷というものですよね
それでは……♪

グキョッ
グキョッ
グキョッ
グキョッ
グキョッ

!!!??ツ
えっ??と思う間に
クーデリアは彼女の
腕についでいた拘束具を
外し始めた
彼女の目が歓喜に染まり
俺の体を凝視している

拘束を解かれた瞬間で
彼は女はもの凄いで
俺に組み付いてきた
俺はまだ手錠をさされた
逃げまどいながら

やっとなにを入れたものを
絶対に離すまいと俺を
ガッパチリと全身で俺を
羽交い締めにする
しっばらくシヤワーも
浴びていないであろう
べたべたとした肌と
彼女の体液を吸い続け
これまた粘着性をもった
全身の肌にはりついて来た
そしてそこからは発せられる
むせるような女の凝縮された
体臭が俺を包み込んだ



フンフツ♪フンゴツ♪フンゴツ♪フゴツ♪
フンゴオツ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
んふっ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
ピチャピチャ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
ベロンツ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

彼女は一層強く俺の顔を寄せ
俺の顔を全体を味わう
鼻が押し付けられ豚の様な
鼻息を漏らしながらも全く
意に介しないうようにだ
俺の顔を濡らしている彼女の
唾液で彼女自身の顔もいつか
唾液でぬらぬらしていたか

フンフツ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
フンフツ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
フンフツ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

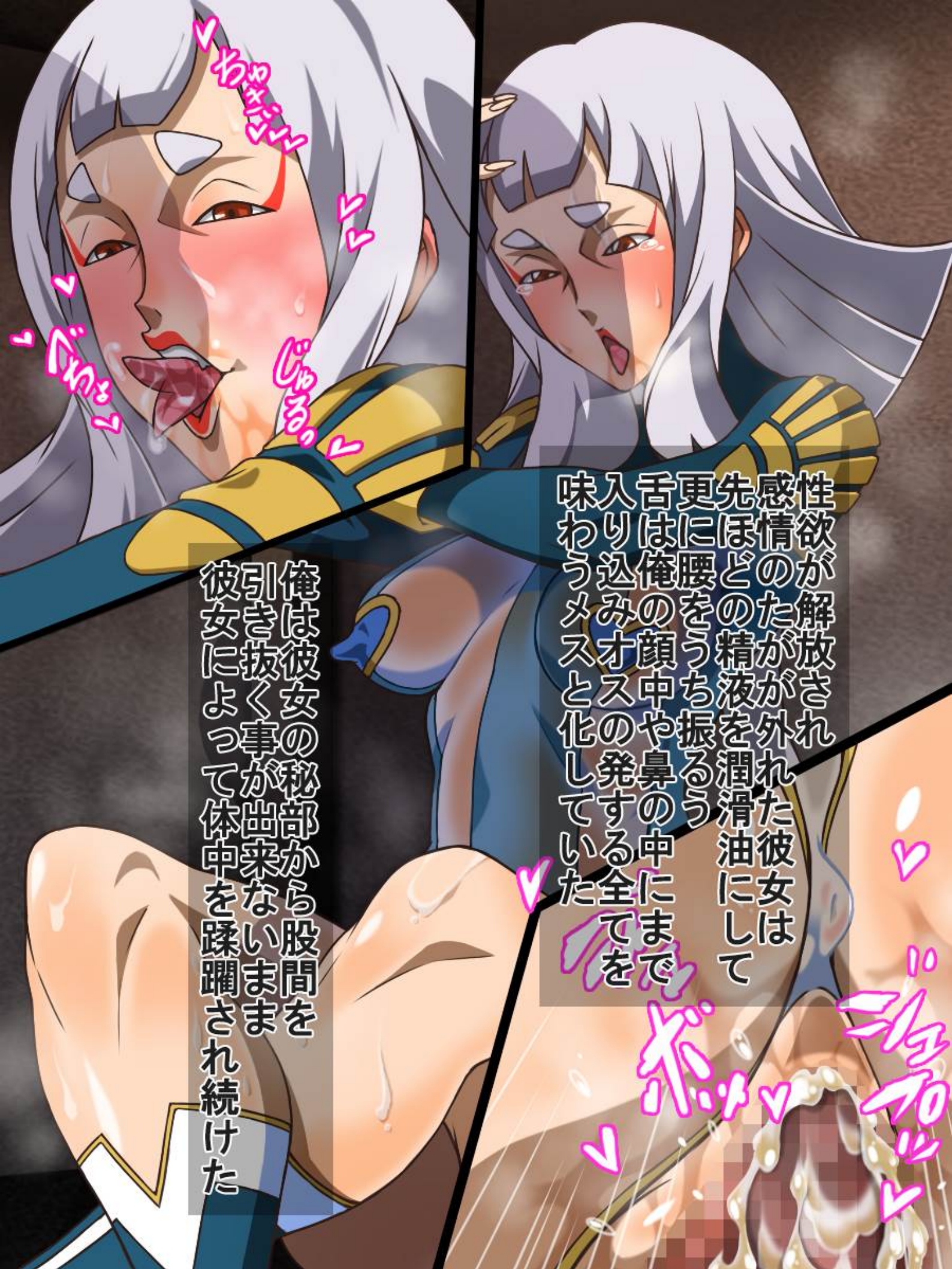
フンフツ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
フンフツ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
フンフツ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡



彼女のは射精した直後の
俺の股間を引き抜きもせず
そのまま再び腰を降り始めた
射精直後の敏感な股間を
射つかれの俺の体が
ビクビクと跳ねる

んあああああ
最高！♡♡♡もっ♡♡♡と♡♡♡
もっ♡♡♡と♡♡♡頂戴♡♡♡もっ♡♡♡と♡♡♡
ジュ♡♡♡ル♡♡♡レ♡♡♡ん♡♡♡お♡♡♡お♡♡♡お♡♡♡ッ♡♡♡
お♡♡♡ほ♡♡♡っ♡♡♡ル♡♡♡レ♡♡♡ん♡♡♡お♡♡♡お♡♡♡お♡♡♡ッ♡♡♡

パッパッ
ジュジュ



性欲が解放され
感情のたが外れた彼女は
先ほどの精液を潤滑油にして
更に腰をうち振るう
舌は俺の顔中や鼻の中にまで
入り込みオスの発する全てを
味わうメスと化していた

俺は彼女の秘部から股間を
引き抜く事が出来ないまま
彼女によつて体中を蹂躞され続けた



♡わぁ♡♡♡♡♡

♡ん♡♡♡♡♡

♡じゅる♡♡♡

♡♡♡

♡

アナルが入ったかい♡♡♡
ほら指が入って♡♡♡
第二関節まで入って♡♡♡
どうだ気分持ち良いつい♡♡♡
ちんちん♡♡♡

ワキの匂い興奮する♡♡♡
ベロベロ♡♡♡
ベロベロ♡♡♡
ベロベロ♡♡♡
ベロ♡♡♡


♡ん♡♡♡♡♡
♡ん♡♡♡♡♡
♡ん♡♡♡♡♡
♡ん♡♡♡♡♡
♡ん♡♡♡♡♡
♡ん♡♡♡♡♡
♡ん♡♡♡♡♡
♡ん♡♡♡♡♡
♡ん♡♡♡♡♡
♡ん♡♡♡♡♡

彼の女にもあそばせ
何度も彼女の中射
約三時間も後やっ
まぐわいは終わっ
半強制的に彼女の
引き剥がす形での
終わりだがっす♡

この

約一週間後…

やっと身元の証明が出来た
との報告がクーデリアより
伝えられ俺は解放される
事になった…それまでも
毎日のように彼女たちは
俺の部屋に来てそれぞれに
性欲を解消していった



解放後…俺は少しだけ
熟女趣味になっていた

終